

会 長 挨 拶

第 63 回日本小児神経学会学術集会を 5 月 27 (木) ~ 29 日 (土) の 3 日間、福岡市で開催すべく鋭意準備を進めて参りました。しかしながら、昨年末からの COVID-19 の感染再拡大状況をふまえて、慎重に協議を重ねました結果、福岡国際会議場での現地開催を見送り、WEB 開催 (ライブ+オンデマンド配信) に開催形式を変更させていただきました。参加者および関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。皆様に Face to Face で学会会場にてお会いすることはできませんが、WEB 開催ライブ配信会場の福岡国際会議場をステーションとして会員のみなさまに満足いただけるプログラムをお届けしたいと考えております。

今回の学術集会のテーマを、“Ignite Evolution at the Dawn of a New Age” 「新時代の夜明けにさらなる進化を引き起こそう」としました。近年の小児神経学の進歩はめざましいものがあります。次世代シークエンサーの導入によって多くの神経疾患で原因遺伝子が発見され、病態生理の解明さらには治療が行われるようになりました。特に、結節性硬化症、ライソゾーム病、脊髄性筋萎縮症、Duchenne 型筋ジストロフィー、MELAS 等の神経疾患の診断や治療において大きなブレイクスルーが起こっており、まさに新時代の夜明けを感じます。一方では、様々な新しい課題も抱えております。本テーマを考えた時は、COVID-19 パンデミックが起こることなど全く想像できませんでした。発生から 1 年以上経過しても私たちに脅かし続け、生活様式を大きく変えています。未曾有の世界の大災害とも言える COVID-19 パンデミックも新時代の夜明けの一員になってしまいました。

今できうる限りのベスト WEB 学会をめざしてプログラムを考えました。福山幸夫先生記念講演を Rett 症候群研究の第一人者である Neul 教授に、海外招待講演演者として ADHD の Summer Treatment Program の創始者である Pelham 教授、神経疾患と環境因子の疫学研究で有名な Ritz 教授にご講演いただきます。特別講演は、上田泰己先生の「ヒトシステム生物学の実現に向けて—睡眠のリン酸化仮説—」、丸山宗利先生の「昆虫に学ぶ」、村中璃子先生の「新型パンデミックから考えるリスクコミュニケーション」です。15 の教育講演と 15 のシンポジウムでは、プログラム委員の皆様のご意見を尊重し、学会員の学びに大いに役立つ講演をそろえました。学会委員会企画セミナーも喫緊する問題や将来のあるべき姿を考える重要な課題をとりあげています。一般演題セッションでは、座長・演者の先生方はリモートでご自身のご所属先やご自宅からライブやオンラインチャットでの発言・質疑応答が行えるよう準備させていただきます。また、ポスターセッションは朝の 1 時間チャットによるディスカッションの時間を設けました。ぜひ活発なご討論をお願いします。若手優秀口演賞、若手優秀ポスター賞、若手優秀 English Session 賞の受賞者を最終日に表彰します。昨年に引き続き 2 度目の WEB 開催となりますが、参加者の皆様の安全と感染拡大防止を考慮しての判断となりましたこと、ご理解、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。多くの会員および研修医・学生の皆様の第 63 回日本小児神経学会学術集会へのご参加を心からお待ち申し上げます。

第 63 回日本小児神経学会学術集会

会長 山下裕史朗

久留米大学医学部小児科学講座 主任教授

■開催概要	S4
■お知らせとお願い	S5
国際小児神経学会 Future Leaders project (FLICNA) 関連講演 オンデマンド配信のご案内	S11
■ライブ配信・オンタイム配信日程表	
実践教育セミナー (5月26日) ※プレコングレス	S13
第1日目 (5月27日)	S14
第2日目 (5月28日)	S16
第3日目 (5月29日)	S18
ポスターセッション	S20
■プログラム	S23
■特別演題抄録	
会長講演	S65
福山幸夫先生記念講演	S66
招待講演 (1, 2)	S68
特別講演 (1~3)	S70
教育講演 (1~15)	S73
シンポジウム (1~15)	S89
共催シンポジウム (1~5)	S133
学会委員会主催セミナー	S145
実践教育セミナー (1~6)	S169
ランチョンセミナー (1~15)	S187
イブニングセミナー (1, 2)	S197
■一般演題抄録 (English Session)	S201
■一般演題抄録 (口演)	S213
■一般演題抄録 (ポスター)	S285

■索引（筆頭講演者名）	S363
■歴代総会／学術集会会長・開催地・会期一覧	S369
■日本小児神経学会優秀論文賞受賞者一覧	S370
■寄付団体，セミナー共催企業，共催シンポジウム企業，プログラム集広告掲載企業， バナー広告掲載企業，PR 動画配信企業・団体，オンライン展示協賛企業	S372

第 63 回日本小児神経学会学術集会 WEB 開催概要

会 長：山下裕史朗（久留米大学医学部小児科学講座）

テーマ：Ignite Evolution at the Dawn of a New Age

会 期（WEB 配信期間）：

2021 年 5 月 27 日（木）～29 日（土） ※5 月 26 日（水）プレコンgres	ライブ配信・オンタイム配信 ※5 月 26 日（水）は、実践教育セミナー（有料）のみ ライブ配信いたします。
2021 年 6 月 24 日（木）15：00 ～7 月 30 日（金）15：00	オンデマンド配信 参加登録された方は、この期間、一般演題を除く ライブ配信セッションの収録動画およびオンデマン ド講演の視聴が可能です。この期間に配信される セッションは日程表をご確認ください。 OND マークがついたセッションです。

プログラム委員会（50 音順・敬称略）

秋山 倫之	栗野 宏之	栗屋 智就	池田 俊郎	石井 雅宏	石川 暢恒
石原 尚子	市山 高志	伊藤 弘道	稲垣 真澄	岩田 欧介	植松 貢
宇都宮英綱	岡西 徹	岡本健太郎	加賀 佳美	加藤 光広	川谷 正男
北井 征宏	城所 博之	吉良龍太郎	熊田 聡子	小枝 達也	小篠 史郎
小西 行彦	齋藤 伸治	齊藤 利雄	酒井 康成	榊原 崇文	作田 亮一
里 龍晴	塩浜 直	柴田 実	清水 教一	下川 尚子	下村 英毅
白石 秀明	関 あゆみ	高梨 潤一	高橋 悟	田中総一郎	田中 朋美
仲村 貞郎	青天目 信	新井田 要	埜中 正博	萩野谷和裕	平澤 恭子
福水 道郎	福與なおみ	藤田 貴子	藤本 礼尚	本田 涼子	前垣 義弘
前田 知己	松尾 宗明	丸山 慎介	宮本 晶恵	村松 一洋	山中 岳

事務局長 弓削康太郎（久留米大学医学部小児科学講座）

事務局 久留米大学医学部小児科学講座

〒 830-0011 福岡県久留米市旭町 67 番地

運営事務局 第 63 回日本小児神経学会学術集会 運営事務局

株式会社コングレ 九州支社内

〒 810-0001 福岡市中央区天神 1-9-17-11F

TEL：092-716-7116 FAX：092-716-7143

E-mail：jscn2021@congre.co.jp

I. 参加者へのご案内

1. 開催方法

第 63 回日本小児神経学会学術集会は COVID-19 の感染拡大を受け、第 62 回同様 WEB 開催（配信される各セッションをご自分のパソコン等で視聴していただく形式）となりました。WEB 開催に関する最新情報は、第 63 回学術集会ホームページにて随時ご案内しておりますので、ご確認くださいませようをお願いいたします。

なお、一部セッションの座長・演者の先生方にはライブ配信会場にお越しいただきますが、詳細につきましては個別にご案内いたします。

各セッションの開催方法は下記の通りです。

- ライブ配信：Zoom を利用したリアルタイムでのオンライン発表
- オンタイム配信：事前収録の講演動画を日程表の時間に配信
- オンデマンド配信：ライブ配信されたセッションの収録動画または事前収録動画セッションの視聴がオンデマンド視聴期間に、何度でも可能です。

セッション	視聴方法
会長講演	ライブ配信+オンデマンド配信
福山幸夫先生記念講演	オンタイム配信+オンデマンド配信
招待講演	オンタイム配信+オンデマンド配信
特別講演	ライブ配信+オンデマンド配信（一部講演を除く）
教育講演	ライブ配信+オンデマンド配信（一部講演を除く）
シンポジウム	ライブ配信+オンデマンド配信（一部セッションを除く）
共催シンポジウム	ライブ配信
学術委員会主催セミナー	ライブ配信+オンデマンド配信（一部セッションを除く）
実践教育セミナー	ライブ配信+オンデマンド配信（一部セッションを除く）
ランチョンセミナー イブニングセミナー	ライブ配信
一般演題 English Session	ライブ配信 発表 7分(事前収録音声付きスライド)+質疑 3分 (Zoom によるライブ配信) *優秀賞セッションの場合、発表・質疑とも Zoom によるライブ配信
一般演題 口演	ライブ配信 発表 7分(事前収録音声付きスライド)+質疑 3分 (Zoom によるライブ配信) *優秀賞セッションの場合、発表・質疑とも Zoom によるライブ配信
一般演題 ポスター	オンライン閲覧+指定時間内でのオンラインフリーチャットディスカッション ※ライブ配信期間中、WEB 会場内にて演者のポスター (PDF) の閲覧が可能です。フリーディスカッションについては、5月28日(金)・29日(土)の8:00~9:00にオンライン質問投稿ページにて演者との質疑応答の時間を設けます。分野ごとにフリーディスカッション日が異なりますので、後述のセッション一覧でご確認ください。 質問投稿方法等の詳細は学術集会ホームページにてご案内いたします。

2. WEB 配信期間（閲覧できる期間）

2021年5月27日（木）～29日（土） ※5月26日（水）プレコンgres	ライブ配信/オンタイム配信 ※5月26日（水）は、実践教育セミナー（有料）のみ ライブ配信いたします。
2021年6月24日（木）15：00 ～7月30日（金）15：00	オンデマンド配信 参加登録された方は、この期間、一般演題を除くライブ配信セッションの収録動画およびオンデマンド講演の視聴が可能です。この期間に配信されるセッションは日程表をご確認ください。 OND マークがついたセッションです。

3. 視聴方法

学術集会ホームページに掲載する「WEB 会場」へアクセスし、参加登録時に発行される WEB 閲覧用の ID とパスワード（PW）にてログインし、視聴が可能となります。

4. 参加登録方法

参加登録方法は学術集会ホームページからのオンライン登録のみです。

WEB 開催に参加ご希望の方は、学術集会ホームページの「参加登録」よりご登録をお願いいたします。

参加登録者には WEB 閲覧用の ID と PW をメールでお送りいたします。

WEB 閲覧期間まで大切に保管してください。

(1) 参加登録期間：4月20日（火）正午開始

受付締切はお支払方法によって異なります。

【クレジットカード支払い】5月29日（土）14：00 締切

【銀行振込】5月14日（金）締切（参加登録・入金まで完了）

※実践教育セミナー受講の場合は、クレジットカード支払いの場合も
5月18日（火）正午までにご登録ください。

(2) 参加登録費

	参加区分	参加費・代金
学術集会参加費	日本小児神経学会 会員	16,000 円
	日本小児神経学会 非会員	18,000 円
	初期研修医	5,000 円（証明書提出）
	看護師、心理士など	5,000 円（証明書提出）
	学部生（医学部含む）	2,000 円（学生証コピー提出，大学院生は除く）
その他	プログラム・抄録集	2,000 円

・初期研修医、看護師、心理士、いずれも証明書が必要です。証明書は学術集会ホームページ「参加登録」ページより所定フォームをダウンロードの上、参加登録時にシステム上にアップロードしてください。

・学部生（医学部含む）は、学生証のコピーを同様にアップロードしてください。

・参加費に「プログラム・抄録集」代は含まれません。

ご希望の方はお申し込みください。ただし、数に限りがありますので予めご了承ください。

なお、抄録本文を除く本誌電子版（PDF）は学術集会ホームページよりダウンロード可能です。

5. 日本小児神経学会年会費

2021 年度会費（15,000 円）を未納の方は、4 月中に納入してください。

6. 若手優秀賞表彰

本大会では本学会開催（2021年5月27日）時点で、筆頭演者が40歳以下の方の演題を対象とし優秀 English Session 賞，優秀口演賞，優秀ポスター賞を設けました。特に優秀な発表に対し，最優秀口演賞と最優秀ポスター賞は各1名，最優秀 English Session 賞は複数名を選出する予定です。

最優秀賞の発表は5月29日（土）14：20からの閉会式にて行います。

表彰状および副賞については後日受賞者へ郵送いたします。

受賞者名は後日学術集会ホームページにも掲載いたします。

7. 単位取得について

以下の通りです。変更になる場合がございますので，学術集会ホームページにて最新情報をご確認ください。

(1) 日本小児神経学会

「参加登録」を行い，本会の視聴，及び該当セッションを視聴することで，以下の通り認められます。各参加証は，視聴後 WEB 上で発行されます。

学会	単位・単位数		単位付与視聴期間		留意事項
			ライブ	オンデマンド	
日本小児神経学会専門医研修単位	学術集会	出席 8 単位	○	○	全体取得上限を12単位とする。 1回の学術集会での単位数の上限は4単位とする。
		発表（筆頭）4 単位	○	—	
		発表（連名）1 単位	○	—	
	福山幸夫先生記念講演招待講演	各 1 単位	○	○	
	教育講演	各 1 単位	○	○	
実践教育セミナー	出席各 2 単位	○	○		

※上記セッションでオンデマンド配信がないセッションもございますので，必ず日程表にてオンデマンド有無をご確認ください。

(2) 他学会

本学術集会の視聴により以下の単位が認められます。

視聴後，WEB 上で発行される本学術集会の参加証をもって取得可能です。

学会	単位数	単位付与視聴期間		留意事項
		ライブ	オンデマンド	
日本神経学会神経内科専門医認定更新単位	2 単位	○	○	
日本てんかん学会専門医	5 単位	○	○	※てんかん学に関する発表（筆頭）20 単位
日本専門医機構認定リハビリテーション科専門医	1 単位	○	○	
日本リハビリテーション医学会認定臨床医	10 単位	○	○	

(3) 専門医研修単位

特定のセッションの参加により以下の単位が認められます。

該当セッションについては日程表にてご確認ください。

視聴後、WEB 上で受講証を発行いたします。

学会	単位数	単位付与視聴期間		留意事項
		ライブ	オンデマンド	
日本小児科学会小児科領域講習	各 1 単位	○	×	視聴後に 5 題以上の設問からなるテストがあり、80%以上の正解者を対象に単位が付与されます。正解者には受講証を発行します。合格点に達するまで何回でもテストを受けることができます。
日本小児科学会小児専門医共通講習 (医療安全)	1 単位	○	×	
日本専門医機構認定 リハビリテーション科専門医	各 1 単位	○	○	
日本リハビリテーション医学会認定臨 床医	各 10 単位	○	○	

8. 実践教育セミナーのご案内

WEB 開催といたします (有料・事前参加申込制)。

※料金等詳細は学術集会ホームページをご確認ください。

WEB 視聴をご希望の方は、学術集会ホームページの「実践教育セミナー視聴申込み」よりお申し込みをお願いいたします。

入金が確認できた方には実践教育セミナー視聴用パスコードをメールでお送りいたします。

(1) 期限：5月18日(火)正午(※お支払方法が銀行振込みの場合は5月14日(金)締切)

<ご注意> 5月18日(火)正午以降のお申し込みはできません。

(2) お支払い方法

クレジットカード決済/銀行振込み

(3) WEB 配信期間 (視聴できる期間)

2021年5月26日(水):ライブ配信

2021年6月24日(木)15:00~7月30日(金)15:00:オンデマンド配信

この期間内のご都合の良い時間に、何度でも視聴することができます。

(4) 実践教育セミナーを視聴した場合、1セミナーにつき2単位取得できます。

※ただし1回の学術集会での単位数の上限は4単位です。

[詳細は後述のプログラム・抄録をご参照ください]。

(5) 配布資料があるセミナーについては、学術集会ホームページからあらかじめご自身で資料をダウンロードしてください。

9. 関連研究会のご案内

- ① 第 12 回日本小児免疫性脳炎研究会
※本学術集会の参加登録にて視聴可能です。
- ② 第 5 回小児ニューロリハビリテーション研究会/第 6 回超早産児発達症研究会
※別途参加登録（有料）が必要です。詳細は学術集会ホームページをご確認ください。
- ③ 第 6 回小児免疫性神経筋疾患研究会
※本学術集会の参加登録にて視聴可能です。

[詳細は後述のプログラムをご参照ください。抄録の掲載はございません]

10. 市民公開講座

収録した動画配信での開催を予定しております。
配信期間等詳細は学術集会ホームページでご確認ください。

市民公開講座「ADHD の子どもたちとの付き合い方講座」

司会：向笠 章子（NPO 法人くるめ STP 理事長，広島国際大学教授）

演者：山下裕史朗（NPO 法人くるめ STP 理事，久留米大学小児科）

多田 泰裕（NPO 法人くるめ STP 理事，公認心理士）

梅野 昌子（南薫小学校通級指導教室担当）

11. 患者家族会ブース

WEB 会場内にて閲覧可能です。

II. 発表に関するご案内

1. 個人情報に関する注意

個人情報保護の観点から，日本小児神経学会の『患者プライバシー保護に関する指針』を遵守し，本学術集会で発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような情報を表示しないようお願いいたしております。特に，発作時ビデオ等，患者さんの表情等を呈示せざるを得ない動画データについては，患者さんの同意が得られているものとします。さらに，本学術集会では，発表内容を録音，写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていただきます。ご参加の皆様のご協力をお願い申し上げます。

2. 一般演題の採択

468 演題の登録がありました。プログラム委員会の審議の結果，English Session 25 題，一般演題（口演）209 題，一般演題（ポスター）234 題と決定しました。

3. 発表における利益相反（COI）開示について

応募演題の筆頭発表者ならびに共同発表者における COI [筆頭発表者ならびに共同発表者自身に対して，当該研究内容に含まれる製品等に関連する営利企業や団体組織からの，兼業などによる給与・講演料・研究費（奨学寄付金も含む）人員の提供・寄付講座への所属など] に関する開示が義務付けられるため，発表にあたっては，これらの情報を開示していただきます。

<口演発表>

COI の有無にかかわらず，発表スライドの冒頭あるいは 2 枚目にて，COI の開示をお願いします。

<ポスター発表>

COI の有無にかかわらず，ポスターの最後に必ず COI 開示の掲示をお願いいたします。

COI 開示フォーマットは下記ホームページでご確認ください。

【第 63 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

<http://www.congre.co.jp/jsn2021/index.html/presenter.html>

WEB 開催に伴う参加登録方法, 視聴方法, 座長・演者へのご案内等はすべて本学術集会ホームページに掲載いたしますので必ずご確認ください。

第 63 回学術集会ホームページ
<http://www.congre.co.jp/jscn2021/>

**国際小児神経学会 Future Leaders project (FLICNA) 関連講演
オンデマンド配信のご案内**

国際小児神経学会 Future Leaders project (FLICNA) では国際小児神経学会に所属する世界中の専門家、教授陣を講師に迎え、これまで 14 の講演等をライブ動画配信してまいりました。

講演は各分野で国際的に活躍されている先生方をお迎えしつつ、ターゲットを若手小児神経科医においており、教育的でわかりやすい内容です。

せっかくのコンテンツをより活用できないか考えた結果、この度日本小児神経学会学術集会において字幕付きでの配信を提案し、実施する運びとなりました。

<配信概要>

- 1) 英語字幕・日本語字幕つき、各講演は 1 時間前後
- 2) てんかん、睡眠、中枢神経感染症、COVID-19 による神経症状と私たち小児神経科医の誰もが関わるトピックを選抜
- 3) 一時停止や巻き戻しも可能です。リスニングの練習にもどうぞ
(字幕なしの動画は FLICNA の instagram アカウントからご覧いただけます)
- 4) 経験豊富な演者による講演です。発表での言い回しや国際学会の雰囲気を知るのにも役立ちます。
コロナ禍に伴い学術集会もオンライン化が求められるようになりました。
直接集まれないのは残念ですが、Web ならではの企画としてお役に立てれば幸いです。

本会では下記 3 講演の視聴が可能です。

- 1) “CNS Infections in children—an update”

Pratibha Singhi

President Elect of the International Child Neurology Association (ICNA), Director Pediatric Neurology and Neurodevelopment, Medanta, The Medicity, India Consultant Rehabilitation Centre for Disabled children, India

Prof Singhi completed her MD (Paediatrics) from All India Institute Of Medical Sciences. She has received special training at the Johns Hopkins Hospital and Kennedy Krieger Institute. She was a Consultant Pediatric Neurologist, The Great Ormond Street Hospital, London, UK (2004–2005 and 2008), and the Former Head & Chief Pediatric Neurology, and Neurodevelopment Department of Pediatrics, PGIMER, Chandigarh, India.

She is the National Delegate to the Asian and Oceanian Child Neurology Association from India, and the Former National President of Association of Child Neurology, India.

She is an author of over 460 research papers and 4 books, and a speaker of over 400 national/international invited talks. She has received a number of national/international research grants, fellowships and research awards.

- 2) “Epilepsy Surgery in Children”

Elaine C. Wirrell

Consultant, Dept of Neurology, Mayo clinic

Prof Wirrell has completed an Internship, Residency of Paediatric and a Fellow of Neurology in IWK Hospital for Children. She has also completed her MD from the University of British Columbia, and BSc (Biochemistry) from Simon Fraser University.

She was a reviewer of American Academy of Neurology, and she is a member of ILAE Classification Committee since 2010.

She has published over 210 articles in peer reviewed journals. She received American Epilepsy Society Infrastructure Award in 2012 for the establishment of a multicenter Pediatric Epilepsy Group (PEG) to facilitate collaborative research in epileptic encephalopathies of infancy and childhood.

3) “Pediatric Sleep and Epilepsy”

Lakshmi Nagarajan

Children’s Neuroscience Service, Dept of Neurology, Perth Children’s Hospital

Clinical Professor, University of Western Australia Medical School

Prof Nagarajan has trained and worked in India, Australia, USA and Canada.

She was the Head of Department, Neurology at the Princess Margaret Hospital for Children, Perth, from 2006–2016.

She is an Executive Board member of ICNA, a member of the ILAE task force to develop international guidelines for Treatment of Neonatal Seizures and the national delegate to the Asian and Oceanian Child Neurology Association from Australia.

She has published over 60 articles in peer reviewed journals, and currently the editor of a book regarding Neonatal Seizures.

国際小児神経学会 Future Leaders project (FLICNA)

東京都医学総合研究所 こどもの脳プロジェクト

西田 裕哉

JSCN : 日本小児神経学会専門医研修単位, OND : オンデマンド配信有

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場
13:00			
14:00	<p>OND</p> <p>JSCN</p> <p>OND</p> <p>実践教育セミナー 1 14:00 ~ 16:00 こどもの頭痛 —6名の師範と実戦稽古— 演者: 疋田敏之 中澤友幸 永井 章 下村英毅 榎日出夫 白石一浩 座長: 西村 陽 疋田敏之</p> <p>S169</p>	<p>JSCN</p> <p>OND</p> <p>JSCN</p> <p>OND</p> <p>実践教育セミナー 2 14:00 ~ 16:00 初めて小児神経学を学ぶ人のための 実践教育セミナー 演者: 久保田雅也 塩浜 直 永瀬裕朗 座長: 藤井克則</p> <p>S173</p>	<p>OND</p> <p>JSCN</p> <p>OND</p> <p>JSCN</p> <p>実践教育セミナー 3 14:00 ~ 16:00 第8回遺伝学実践教育セミナー —Webで学ぶ小児神経科医に必須の 遺伝子解析の解釈の仕方— 演者: 山本俊至 酒井康成 和田敬仁 高野亨子 座長: 小坂 仁 齋藤伸治</p> <p>S175</p>
16:00			
17:00	<p>OND</p> <p>JSCN</p> <p>OND</p> <p>実践教育セミナー 4 16:30 ~ 19:00 小児の睡眠と神経疾患 演者: 小曾根基裕 八木朝子 豊浦麻記子 福水道郎 遠山 潤 座長: 安元佐和 金村英秋</p> <p>S178</p>	<p>JSCN</p> <p>OND</p> <p>JSCN</p> <p>OND</p> <p>実践教育セミナー 5 16:30 ~ 19:00 小児科医のための神経画像 2021 演者: 森 壘 榎園美香子 高梨潤一 宇都宮英綱 座長: 高梨潤一 大場 洋</p> <p>S181</p>	<p>JSCN</p> <p>OND</p> <p>JSCN</p> <p>OND</p> <p>実践教育セミナー 6 16:30 ~ 18:30 誤診から学ぶ (2) 演者: 杉田克生 久保田雅也 早川 格 生坂政臣 座長: 久保田雅也 杉田克生</p> <p>S184</p>
18:00			
19:00			
20:00			

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

第 63 回日本小児神経学会学術集会 ライブ配信・オンタイム配信日程表 1 日目 5 月 27 日 (木)

[JSCN] : 日本小児神経学会専門医研修単位, [JSP①] : 日本小児科学会小児科領域講習単位取得可能セッション, [JSP②] : 日本小児科学会小児科専

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場
8:00				
	開会式 8:20 ~ 8:30			
	OND 会長講演 8:30 ~ 9:00 Ignite Evolution at the Dawn of a New Age 演者: 山下裕史朗 座長: 松石豊次郎 S65			
9:00	OND 福山幸夫先生記念講演 [JSCN] 9:00 ~ 10:00 Development of clinical trial readiness in Rett syndrome using natural history studies and animal models 演者: Jeffrey L. Nuel 座長: 伊藤雅之 S66			
10:00	OND 教育講演 1 [JSCN] 10:10 ~ 11:10 バイオマーカー-GDF15の産業化により大きく変わるミトコンドリア病の診断アルゴリズム 演者: 古賀靖敏 座長: 三牧正和 S73	OND 教育講演 5 [JSCN] 10:10 ~ 11:10 自閉症学—細胞・マウスモデルから病態に迫る— 演者: 内匠 透 座長: 永瀬裕朗 S77	OND シンポジウム 3 10:10 ~ 12:10 疾患モデルとしてのiPS細胞の未来 演者: 吉田路子 前澤善朗 吉田健司 座長: 藤井克則 栗屋智就 S95	共同研究支援委員会主催セミナー 10:10 ~ 12:10 小児科医の関わる共同研究—早産児ピリルビン脳症の多角的研究と臨床応用— 演者: 奥村彰久 森岡一朗 柳 貴英 日下 隆 荒井 洋 座長: 倉橋宏和 森本昌史 S145
11:00	OND 教育講演 2 [JSP①] [JSCN] 11:20 ~ 12:20 高度経済成長期に命が大切にされる社会を目指して—ケニアにおける障がい児から、一人一人の笑顔を守る環境を考える— 演者: 公文和子 座長: 加藤光広 S74			
12:00	ランチンセミナー 1 12:30 ~ 13:20 小児神経医が見逃してはならない治療薬のある希少疾患 演者: 澁谷与扶子 石垣景子 座長: 渡邊順子 S187	ランチンセミナー 2 12:30 ~ 13:20 TSC(結節性硬化症)治療の現状と課題 演者: 阿部裕一 齋藤貴志 座長: 藤本礼尚 S188	ランチンセミナー 3 12:30 ~ 13:20 小児てんかんにおける全般起始発作と治療方法 演者: 岡西 徹 座長: 白石秀明 S189	ランチンセミナー 4 12:30 ~ 13:20 自閉スペクトラム症の小児期体験 演者: 牧之段 学 座長: 中川栄二 S189
13:00	OND 特別講演 1 13:30 ~ 14:30 ヒトシステム生物学の実現に向けて—睡眠のリン酸化仮説— 演者: 上田泰己 座長: 岡 明 S70	OND シンポジウム 1 13:30 ~ 15:30 ADHDの周辺にある併存症について理解を深める 演者: 金生由紀子 金村英秋 福水道郎 加賀佳美 座長: 加賀佳美 金村英秋 S89		OND 優秀論文賞 ミニ講演会 13:30 ~ 14:00 演者: 七種朋子 山田博之 座長: 近藤和泉
14:00	特別講演 2 14:40 ~ 15:40 昆虫に学ぶ 演者: 丸山宗利 座長: 山下裕史朗 S71			
15:00	教育講演 3 [JSCN] 15:50 ~ 16:50 髄液吸収メカニズムの最新知見—髄膜-脈管外通路を介する髄液経リンパ管吸収路を中心として— 演者: 三浦真弘 座長: 師田信人 S75	シンポジウム 2 15:40 ~ 17:40 神経筋疾患, 新しい治療の時代へ 演者: 小牧宏文 齋藤代子 戸田達史 高橋正紀 石垣景子 座長: 石垣景子 小牧宏文 S92	OND シンポジウム 4 15:40 ~ 17:40 神経に見える化する画像技術の進歩 演者: 横田 元 石山昭彦 吉井祥子 座長: 藤井克則 山中 岳 S97	OND 社会活動・広報委員会 [JSP①] 主催セミナー 1 15:40 ~ 17:40 障害児虐待予防に向けた取り組み—ペアレント・トレーニング— 演者: 井上雅彦 島袋静香 江上千代美 長瀬美香 松崎敦子 座長: 永井利三郎 米山 明 S148
16:00	OND 教育講演 4 [JARM] [JSCN] 17:00 ~ 18:00 二分脊椎の最近の発生学や病態学をどう理解するか 演者: 森岡隆人 座長: 吉良龍太郎 S76			
17:00	イブニングセミナー 1 18:00 ~ 18:50 小児てんかんの予後改善を、服薬アドヒアランス、認知行動から考える 演者: 山本吉章 金村英秋 座長: 高橋幸利 S197	イブニングセミナー 2 18:00 ~ 18:50 小児薬剤抵抗性てんかん患者に対するチーム医療での取り組み 演者: 下野九理子 谷 直樹 座長: 榎日出夫 S198		
18:00				
19:00			第12回 日本小児免疫性脳炎研究会 18:00 ~ 20:00 抗MOC抗体症候群	
20:00				

* 欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

第 63 回日本小児神経学会学術集会 ライブ配信・オンタイム配信日程表 1 日目 5 月 27 日 (木)

門医共通講習 (医療倫理) 単位取得可能セッション, [JARM]: 日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修単位可能セッション

	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場	ポスター
8:00					
9:00					
10:00					
11:00	OND 災害対策小委員会 主催セミナー 10:10 ~ 12:10 新型コロナウイルス感染を どのように乗り切ろうと しているのか 演者: 森内浩幸 富田 直 竹本 潔 赤坂真奈美 木村重美 座長: 遠藤雄策 木村重美 S151	一般口演 1 優秀賞 1 10:10 ~ 11:00 O-001 ~ O-005 座長: 松尾宗明 遠山 潤 S213	一般口演 5 ADHD・LD 10:10 ~ 11:10 O-022 ~ O-027 座長: 中井昭夫 宮島 祐 S220	一般口演 9 自律神経, 頭痛 10:10 ~ 11:10 O-041 ~ O-046 座長: 鈴木雄一 山中 岳 S226	
12:00		一般口演 2 優秀賞 2 11:10 ~ 11:50 O-006 ~ O-009 座長: 佐々木征行 永光信一郎 S214	一般口演 6 発達障害の療育・支援・福祉 11:20 ~ 12:10 O-028 ~ O-032 座長: 沢石由記夫 広瀬宏之 S222	一般口演 10 てんかん 治療 1 11:20 ~ 12:10 O-047 ~ O-051 座長: 秋山倫之 石井清久 S228	
13:00	ランチョンセミナー 5 12:30 ~ 13:20 ムコ多糖症 II 型の治療 Update 演者: 成田 綾 座長: 濱崎考史 S190				
14:00		English Session 1 Best English Session Award 1 13:30 ~ 14:10 E-01 ~ E-04 Chair: Katsuhiko Kobayashi Shinji Saitoh S201	一般口演 7 脳性麻痺 13:30 ~ 14:10 O-033 ~ O-036 座長: 市山高志 香取さやか S223	一般口演 11 てんかん 治療 2 13:30 ~ 14:20 O-052 ~ O-056 座長: 石川暢恒 池田ちづる S230	ポスター オンライン閲覧
15:00		English Session 2 Best English Session Award 2 14:20 ~ 15:00 E-05 ~ E-08 Chair: Toshiaki Takenouchi Hiroyuki Kidokoro S202	一般口演 8 重症心身障害 14:20 ~ 15:00 O-037 ~ O-040 座長: 口分田政夫 内山伸一 S225	一般口演 12 てんかん 治療 3 14:30 ~ 15:30 O-057 ~ O-062 座長: 日暮憲道 井原由紀子 S231	
16:00		一般口演 3 発達 15:10 ~ 16:10 O-010 ~ O-015 座長: 小沢 浩 金子美香 S216	English Session 3 Genetics, Genetic abnormality 15:10 ~ 16:10 E-09 ~ E-14 Chair: Yasunari Sakai Hirotomo Saito S203	一般口演 13 てんかん 診断・遺伝子 15:40 ~ 16:30 O-063 ~ O-067 座長: 岡成和夫 中村和幸 S233	
17:00		一般口演 4 自閉スペクトラム症 16:20 ~ 17:20 O-016 ~ O-021 座長: 関 あゆみ 小西行彦 S218	English Session 4 Epilepsy, Encephalitis/Encephalopathy 16:20 ~ 17:20 E-15 ~ E-20 Chair: Yoshihiro Maegaki Shinsuke Maruyama S205		
18:00	共催シンポジウム 1 18:00 ~ 19:30 寝る子はそだつ 演者: 神山 潤 永光信一郎 座長: 山形崇倫 S133				
19:00					
20:00					

第 63 回日本小児神経学会学術集会 ライブ配信・オンタイム配信日程表 2 日目 5 月 28 日 (金)

[JSCN] : 日本小児神経学会専門医研修単位, [JSP①] : 日本小児科学会小児科領域講習単位取得可能セッション, [JSP②] : 日本小児科学会小児科専

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場
8 : 00				
9 : 00	招待講演 1 9 : 00 ~ 10 : 00 Recent advances in treatment for children with ADHD—Sequencing, dosing, and combining pharmacological and behavioral approaches— 演者 : William E. Pelham Jr. 座長 : 友田明美 S68			
10 : 00	招待講演 2 10 : 10 ~ 11 : 10 What do we know about environmental risk factors for neurodevelopmental disorders? 演者 : Beate Ritz 座長 : 山下裕史朗 S69			
11 : 00			倫理委員会・COI委員会主催セミナー 11 : 10 ~ 12 : 20 医学研究と生命倫理と法 演者 : 丸山英二 座長 : 伊東恭子 S154	
12 : 00	特別講演 3 11 : 20 ~ 12 : 20 新型/パンデミックから考えるリスクコミュニケーション 演者 : 村中瑞子 座長 : 高橋孝雄 S72	教育講演 10 11 : 20 ~ 12 : 20 ジストニアの脳神経外科治療 演者 : 平 孝臣 座長 : 星野恭子 S82		
13 : 00	ランチョンセミナー 6 12 : 30 ~ 13 : 20 子どもの成長発達を考慮した薬剤整理の意義—抗てんかん薬のシンプル処方— 演者 : 榎日出夫 座長 : 浜野晋一郎 S190	ランチョンセミナー 7 12 : 30 ~ 13 : 20 意外に身近な薬剤性カルニチン欠乏症 演者 : 奥村彰久 座長 : 山内秀雄 S191	ランチョンセミナー 8 12 : 30 ~ 13 : 20 神経発達症児診療の基本を再考する 演者 : 荒木章子 座長 : 広瀬宏之 S191	ランチョンセミナー 9 12 : 30 ~ 13 : 20 Realizing the potential of gene therapy for SMA: Clinical trial and real-world experience 演者 : Kevin A. Strauss 座長 : 小牧宏文 S192
14 : 00	教育講演 6 13 : 30 ~ 14 : 30 AMEDの概要と事業について—小児神経分野の事業に関連して— 演者 : 三島良直 座長 : 山下裕史朗 S78	シンポジウム 5 13 : 30 ~ 15 : 30 ゲーム症の脳科学的病態解明と治療 演者 : 滝口慎一郎 野元謙作 井上 建 樋口 進 座長 : 作田亮一 友田明美 S99	社会保険小委員会主催セミナー 13 : 30 ~ 15 : 30 小児神経領域における心理職の役割について考える 演者 : 今村扶美 持丸由紀子 酒井玲子 原田剛志 米山 明 座長 : 田沼直之 星野恭子 S155	シンポジウム 7 13 : 30 ~ 15 : 30 患者会と進める日本レット症候群研究・治療の現状 演者 : 伊藤雅之 高橋 悟 高橋知之 青天目 信 弓削康太郎 谷岡哲次 座長 : 伊藤雅之 松石豊次郎 S105
15 : 00	教育講演 7 14 : 40 ~ 15 : 40 小児の神経眼科ABC—症例と動画で見る神経眼科— 演者 : 三村 治 座長 : 竹島泰弘 S79			
16 : 00	教育講演 8 15 : 50 ~ 16 : 50 てんかんと頭痛 演者 : 榎日出夫 座長 : 里 龍晴 S80	シンポジウム 6 15 : 40 ~ 17 : 40 虐待による乳幼児頭部外傷(AHT)に向き合うために知っておきたいこと 演者 : 仙田昌義 丸山朋子 井原 哲 小谷泰一 酒井邦彦 座長 : 奥村彰久 埜中正博 S102	薬事小委員会主催セミナー 15 : 40 ~ 17 : 10 神経筋疾患の最新の遺伝子治療を考える 演者 : 中川栄二 青木吉嗣 山形崇倫 横井貴之 石垣景子 座長 : 中川栄二 石垣景子 S158	シンポジウム 8 15 : 40 ~ 17 : 40 脳性麻痺診療アップデート 演者 : 北井征宏 香取さやか 金城 健 荒井 洋 座長 : 荒井 洋 萩野谷和裕 S109
17 : 00	教育講演 9 17 : 00 ~ 18 : 00 新技術解析拠点における希少難治疾患のゲノム解析 演者 : 松本直通 座長 : 酒井康成 S81			
18 : 00				
19 : 00		共催シンポジウム 2 18 : 00 ~ 19 : 30 小児期ADHDと併存疾患—その診断法と治療法— 演者 : 本田秀夫 岡田 俊 小平雅基 座長 : 齊藤万比古 S135	共催シンポジウム 3 18 : 00 ~ 19 : 30 脊髄性筋萎縮症(SMA)トータルケア最新情報—患者さんの声を聴きながら— 演者 : 木水友一 石川暢恒 栗野宏之 本橋裕子 座長 : 齋藤加代子 S137	
20 : 00				

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

第 63 回日本小児神経学会学術集会 ライブ配信・オンタイム配信日程表 2 日目 5 月 28 日 (金)

門医共通講習 (医療倫理) 単位取得可能セッション, [JARM]: 日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修単位可能セッション

	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場	ポスター
8:00					フリーチャット ディスカッション1 8:00~9:00
9:00		一般口演 14 遺伝・遺伝子異常 1 9:00~10:10 O-068~O-074 座長:高橋 悟 鳥尾倫子 S235	一般口演 18 COVID-19関連 9:00~9:50 O-095~O-099 座長:小篠史郎 田中総一郎 S244	一般口演 23 脊髄性筋萎縮症 9:00~10:20 O-123~O-130 座長:齊藤利雄 栗野宏之 S253	
10:00					
11:00					
12:00		English Session 5 Others 11:20~12:20 E-21~E-26 座長:Tetsuro Nagasawa Osuke Iwata S207	一般口演 19 睡眠障害 11:20~12:20 O-100~O-105 座長:福水道郎 矢野珠巨 S246	一般口演 24 新生児・早産児・周産期脳障害 11:20~12:30 O-131~O-137 座長:加藤 徹 前田知己 S256	
13:00	ランチョンセミナー 10 12:30~13:20 小児てんかん重積状態の 初期治療を考える 演者:菊池健二郎 座長:前垣義弘 S192				
14:00	OND シンポジウム 9 [JSP]① 13:30~15:30 医療的ケア児の 災害時ネットワーク作成 —非小児神経科医の視点— 演者:中本さおり 大木 茂 松丸実奈 三宅大介 篠原愛子 座長:小篠史郎 石井雅宏 S112	一般口演 15 遺伝・遺伝子異常 2 13:30~14:40 O-075~O-081 座長:井上貴仁 粟屋智就 S237	一般口演 20 てんかん, 他 13:30~14:20 O-106~O-110 座長:白石秀明 藤田貴子 S248	一般口演 25 筋 1 13:30~14:40 O-138~O-144 座長:榊原崇文 元木崇裕 S258	ポスター オンライン閲覧
15:00		一般口演 16 代謝性疾患 14:50~16:00 O-082~O-088 座長:成田 綾 久保田一生 S240	一般口演 21 画像 14:30~15:40 O-111~O-117 座長:宇都宮英綱 高梨潤一 S249	一般口演 26 筋 2 14:50~16:10 O-145~O-152 座長:本橋裕子 チョン ピンフィー S261	
16:00	OND シンポジウム 10 15:40~17:40 小児神経領域における 緩和ケアの今とこれから —10年先を見据えて— 演者:岡崎 伸 笹月桃子 松岡真里 余谷暢之 座長:前垣義弘 吉良龍太郎 S115	一般口演 17 神経変性疾患 16:10~17:10 O-089~O-094 座長:青天目 信 細矢光亮 S242	一般口演 22 West症候群, 他 1 15:50~16:40 O-118~O-122 座長:植松 貢 島川修一 S252		
17:00					
18:00					
19:00					
20:00					

[JSCN] : 日本小児神経学会専門医研修単位, [JSP①] : 日本小児科学会小児科領域講習単位取得可能セッション, [JSP②] : 日本小児科学会小児科専

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場
8:00				
9:00	OND 教育講演 11 9:00 ~ 10:00 小児の運動異常症 一動画で学ぶ 最近の症候・病態・治療学— 演者: 熊田聡子 座長: 下村英毅 S83	OND 教育講演 14 9:00 ~ 10:00 保険診療となる マイクロアレイ染色体検査の 小児神経疾患領域での運用 演者: 山本俊至 座長: 難波栄二 S86	OND シンポジウム 12 9:00 ~ 11:00 てんかん性スバズムへの外科治療 一こんなに有効な 脳梁離断と切除術— 演者: 本田涼子 香川幸太 飯村康司 金井創太郎 座長: 岡西 徹 藤本礼尚 S121	共催シンポジウム 4 9:00 ~ 10:30 本邦における 脊髄性筋萎縮症(SMA)に対する 遺伝子補充療法 一発売から1年を迎えて— 演者: 齋藤加代子 桑島真理 小俣 卓 長谷川三希子 座長: 齋藤加代子 山形崇倫 S140
10:00	OND 教育講演 12 10:10 ~ 11:10 神経発達症に含まれた 吃音症の最新知識 演者: 菊池良和 座長: 鶴澤礼美 S84	OND 教育講演 15 10:10 ~ 11:10 小児期から認知されるべき疾患 「脳髄黄色腫症」 一脳神経内科医の立場から— 演者: 関島良樹 一小児科医の立場から— 演者: 稲葉雄二 座長: 稲葉雄二 S87		
11:00				
12:00	ランチョンセミナー 11 11:20 ~ 12:10 脊髄性筋萎縮症の診断・治療 一患者さん・ご家族をささえる治療の 実際と、評価方法update— 演者: 岡崎 伸 座長: 小牧宏文 S193	ランチョンセミナー 12 11:20 ~ 12:10 治療可能な神経変性疾患 セロイドリポフスチン症2型(CLN2) 演者: 成田 綾 福田冬季子 座長: 衛藤義勝 S193	ランチョンセミナー 13 11:20 ~ 12:10 注意欠如多動症(ADHD)と併存症 演者: 齊藤卓弥 座長: 友田明美 S194	ランチョンセミナー 14 11:20 ~ 12:10 発達・歩容の異常から気づく骨疾患を鑑別する 一ALP低値を見逃さない— 演者: 田村太資 佐藤秀夫 座長: 秋山倫之 S195
13:00	OND 教育講演 13 12:20 ~ 13:20 自己免疫性脳炎の基礎と臨床 演者: 佐久間 啓 座長: 池田俊郎 S85	OND シンポジウム 11 12:20 ~ 14:20 新生児低酸素性虚血性脳症の 最前線 一長期発達予後— 演者: 津田兼之介 北井征宏 柴崎 淳 竹内章人 座長: 岩田欧介 高橋立子 S118	OND シンポジウム 13 12:20 ~ 14:20 小児神経科医にとっての医学研究 一臨床医が医学研究に どう関わっていくか— 演者: 三國貴康 城所博之 石垣景子 三牧正和 座長: 村松一洋 粟屋智就 S124	OND シンポジウム 14 12:20 ~ 14:20 小児の睡眠障害の最新トピック 演者: 加藤久美 長尾ゆり 林 雅晴 神林 崇 座長: 林 雅晴 星野恭子 S127
14:00				
15:00	閉会式 14:20 ~ 14:30			
16:00	OND 社会活動・広報委員会 主催セミナー 2 15:00 ~ 17:00 小児-成人移行医療 演者: 自見はなこ 阿部裕一 齊藤利雄 一ノ瀬英史 小野正恵 座長: 米山 明 三牧正和 S161	OND 国際化推進委員会主催セミナー 15:00 ~ 17:00 一海外支援: 発展途上地域における 日本小児神経学会の 果たすべき役割— 演者: 山本尚子 板東あけみ 公文和子 座長: 石原尚子 石川悠加 S164	OND 医療安全委員会主催セミナー 15:00 ~ 17:00 一神経領域の医療安全の 更なる発展に向けて— 演者: 是松聖悟 山内秀雄 石井光子 中下裕子 座長: 村松一洋 宮本雄策 S166	第5回小児ニューロ リハビリテーション研究会・ 第6回超早産児発達症研究会 15:00 ~ 17:00 小児リハビリテーションに つながる最新の話題 ※別途参加登録が必要です
17:00				
18:00				

※欄の右下の数字は、抄録本文の掲載ページを示しています。

第 63 回日本小児神経学会学術集会 ライブ配信・オンタイム配信日程表 3 日目 5 月 29 日 (土)

門医共通講習 (医療倫理) 単位取得可能セッション, [JARM]: 日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修単位可能セッション

	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場	ポスター
8:00					フリーチャット ディスカッション2 8:00 ~ 9:00
9:00	共催シンポジウム 5 9:00 ~ 10:30 デュシェンヌ型筋ジストロフィー の治療 Up Date 演者: 船戸道徳 三浦利彦 荒畑 創 座長: 小牧宏文 S143	一般口演 27 脳外科領域 1 9:00 ~ 9:50 O-153 ~ O-157 座長: 榎中正博 井原 哲 S263	一般口演 31 感染, 免疫 9:00 ~ 9:50 O-174 ~ O-178 座長: 福與なおみ 南 弘一 S270	一般口演 34 移行期医療, 他 9:00 ~ 9:50 O-192 ~ O-196 座長: 御牧信義 水口 雅 S276	
10:00		一般口演 28 脳外科領域 2 10:00 ~ 10:50 O-158 ~ O-162 座長: 下川尚子 稲垣隆介 S265	一般口演 32 急性脳炎・脳症 1 10:00 ~ 11:00 O-179 ~ O-184 座長: 柏木 充 李 守永 S272	一般口演 35 不随意運動, 基底核疾患 10:00 ~ 11:00 O-197 ~ O-202 座長: 竹下絵里 仲村貞郎 S278	
11:00	※ランチョンセミナー15 については 医療関係者以外の 聴講はご遠慮ください ● ランチョンセミナー 15 11:20 ~ 12:10 脳性麻痺児・者の緊張に対する 包括的介入 演者: 荒井 洋 座長: 根津敦夫 S196				
12:00					
13:00	OND [JARM] シンポジウム 15 12:20 ~ 14:20 医療的ケア児の在宅医療 演者: 前田浩利 富田 直 網塚貴介 橋本和憲 熊田知浩 座長: 三浦清邦 田中総一郎 S130	一般口演 29 熱性けいれん/急性脳炎・脳症 12:20 ~ 13:20 O-163 ~ O-168 座長: 底田辰之 前田寿幸 S267	一般口演 33 急性脳炎・脳症 2 12:20 ~ 13:30 O-185 ~ O-191 座長: 河野 剛 星野 愛 S274	一般口演 36 自己免疫性脳炎 12:20 ~ 13:40 O-203 ~ O-210 座長: 小俣 卓 鳥巢浩幸 S280	ポスター オンライン閲覧
14:00		一般口演 30 West症候群, 他 2 13:30 ~ 14:20 O-169 ~ O-173 座長: 亀井 淳 大戸達之 S269			
15:00					
16:00	第6回 小児免疫性神経筋疾患研究会 15:00 ~ 17:00 明日から役立つ! 重症筋無力症の基礎と 臨床シンポジウム				
17:00					
18:00					

ポスターセッション 5月28日(金)

WEB会場
フリーチャットディスカッション1 8:00～9:00
9:00 ポスター オンライン閲覧

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 優秀賞 | P-001 ～ P-011 … S285 |
| 2. 染色体異常(CGHアレイ異常含む) | P-012 ～ P-014 … S288 |
| 3. 遺伝・遺伝子異常 | P-015 ～ P-046 … S289 |
| 4. 先天異常, 神経皮膚症候群 | P-047 ～ P-057 … S300 |
| 5. 発達 | P-058 ～ P-061 … S304 |
| 6. 自閉スペクトラム症 | P-062 ～ P-064 … S305 |
| 7. 発達障害の療育・支援・福祉 | P-065 ～ P-081 … S306 |
| 8. 脳性麻痺 | P-082 ～ P-085 … S312 |
| 9. 自律神経, 頭痛 | P-086 ～ P-087 … S313 |
| 10. てんかん 診断・遺伝子 | P-088 ～ P-101 … S314 |
| 11. てんかん 治療 | P-102 ～ P-115 … S318 |
| 12. 神経変性疾患 | P-116 ～ P-123 … S323 |

ポスターセッション 5月29日(土)

WEB会場
フリーチャットディスカッション2 8:00～9:00
ポスター オンライン閲覧

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 13. 発達障害, 他一般 | P-124 ～ P-131 … S326 |
| 14. てんかん, 他 | P-132 ～ P-146 … S328 |
| 15. 電気生理(脳波, 筋電図, 脳磁図など) | P-147 ～ P-150 … S333 |
| 16. 画像 | P-151 ～ P-153 … S335 |
| 17. 代謝性疾患 | P-154 ～ P-163 … S336 |
| 18. 末梢神経 | P-164 ～ P-167 … S339 |
| 19. 筋 | P-168 ～ P-179 … S340 |
| 20. 腫瘍・血管障害・脳外科領域 | P-180 ～ P-184 … S344 |
| 21. 急性脳炎・脳症(自己免疫性脳炎を除く) | P-185 ～ P-195 … S346 |
| 22. 自己免疫性脳炎 | P-196 ～ P-205 … S350 |
| 23. 感染, 免疫(急性脳炎・脳症を除く) | P-206 ～ P-217 … S353 |
| 24. 睡眠障害 | P-218 ～ P-224 … S357 |
| 25. 内分泌, 中毒, 栄養 | P-225 ～ P-226 … S359 |
| 26. 災害・COVID-19関連 | P-227 ～ P-234 … S360 |

※ライブ配信の期間中はいつでも閲覧可能です。

プログラム

S23 ~ S61

会長講演 (S65)

5月27日(木) 8:30~9:00 第1会場

座長 松石豊次郎(聖マリア病院小児総合研究センター・レット症候群研究センター)

- PL **Ignite Evolution at the Dawn of a New Age** (新時代の夜明けにさらなる進化を引き起こそう)
山下裕史朗(久留米大学医学部小児科学講座)

福山幸夫先生記念講演 (S66)

5月27日(木) 9:00~10:00 第1会場

座長 伊藤雅之(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)

- ML **Development of clinical trial readiness in Rett syndrome using natural history studies and animal models**
Jeffrey L. Neul (Vanderbilt Kennedy Center, Pediatrics, Pharmacology, and Special Education, Vanderbilt University Medical Center, Vanderbilt University, USA)

招待講演 (S68, 69)

招待講演 1

5月28日(金) 9:00~10:00 第1会場

座長 友田明美(福井大学子どものこころの発達研究センター)

- IL1 **Recent advances in treatment for children with ADHD —Sequencing, dosing, and combining pharmacological and behavioral approaches—**
William E. Pelham Jr. (Florida International University, USA)

招待講演 2

5月28日(金) 10:10~11:10 第1会場

座長 山下裕史朗(久留米大学医学部小児科学講座)

- IL2 **What do we know about environmental risk factors for neurodevelopmental disorders?**
Beate Ritz (Epidemiology, Environmental Sciences and Neurology, UCLA, FSPH and DGSOM, USA)

特別講演 (S70~72)

特別講演 1

5月27日(木) 13:30~14:30 第1会場

座長 岡 明(埼玉県立小児医療センター)

- SL1 **ヒトシステム生物学の実現に向けて —睡眠のリン酸化仮説—**
上田泰己(東京大学大学院医学系研究科, 国立研究開発法人理化学研究所)

特別講演 2

5月27日(木) 14:40~15:40 第1会場

座長 山下裕史朗(久留米大学医学部小児科学講座)

- SL2 **昆虫に学ぶ**
丸山宗利(九州大学総合研究博物館)

特別講演 3

5月28日(金) 11:20~12:20 第1会場

座長 高橋孝雄(慶應義塾大学医学部・医学研究科小児科学教室)

- SL3 **新型パンデミックから考えるリスクコミュニケーション**
村中璃子(京都大学大学院医学研究科)

教育講演 (S73~88)

教育講演 1

5月27日(木) 10:10~11:10 第1会場

座長 三牧正和 (帝京大学小児科)

- EL1 バイオマーカー GDF15 の産業化により大きく変わるミトコンドリア病の診断アルゴリズム
古賀靖敏 (久留米大学医学部小児科)

教育講演 2

5月27日(木) 11:20~12:20 第1会場

座長 加藤光広 (昭和大学医学部小児科学講座)

- EL2 高度経済成長期に命が大切にされる社会を目指して —ケニアにおける障がい児から、一人一人の笑顔を守る環境を考える—
公文和子 (シロアムの園)

教育講演 3

5月27日(木) 15:50~16:50 第1会場

座長 師田信人 (北里大学病院周産母子成育医療センター脳神経外科)

- EL3 髄液吸収メカニズムの最新知見 —髄膜-脈管外通液路を介する髄液経リンパ管吸収路を中心として—
三浦真弘 (大分大学医学部医学科解剖学)

教育講演 4

5月27日(木) 17:00~18:00 第1会場

座長 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)

- EL4 二分脊椎の最近の発生学や病態学をどう理解するか
森岡隆人 (原三信病院脳神経外科)

教育講演 5

5月27日(木) 10:10~11:10 第2会場

座長 永瀬裕朗 (神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども急性疾患学)

- EL5 自閉症学 —細胞・マウスモデルから病態に迫る—
内匠 透 (神戸大学大学院医学研究科)

教育講演 6

5月28日(金) 13:30~14:30 第1会場

座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科学講座)

- EL6 AMED の概要と事業について —小児神経分野の事業に関連して—
三島良直 (日本医療研究開発機構)

教育講演 7

5月28日(金) 14:40~15:40 第1会場

座長 竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)

- EL7 小児の神経眼科 ABC —症例と動画で見る神経眼科—
三村 治 (兵庫医科大学眼科)

教育講演 8

5月28日(金) 15:50~16:50 第1会場

座長 里 龍晴 (長崎大学病院小児科)

- EL8 てんかんと頭痛
榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター・小児神経科)

教育講演 9

5月28日(金) 17:00~18:00 第1会場

座長 酒井康成 (九州大学大学院医学研究院成長発達医学)

- EL9 新技術解析拠点における希少難治疾患のゲノム解析
松本直通 (横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学)

教育講演 10

- 5月28日(金) 11:20~12:20 第2会場
 座長 星野恭子(昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)
 EL10 ジストニアの脳神経外科治療
 平 孝臣, 堀澤士朗(東京女子医科大学脳神経外科)

教育講演 11

- 5月29日(土) 9:00~10:00 第1会場
 座長 下村英毅(兵庫医科大学小児科学)
 EL11 小児の運動異常症 一動画で学ぶ最近の症候・病態・治療学一
 熊田聡子(東京都立神経病院神経小児科)

教育講演 12

- 5月29日(土) 10:10~11:10 第1会場
 座長 鶴澤礼美(医療法人社団高邦会高木病院)
 EL12 神経発達症に含まれた吃音症の最新知識
 菊池良和(九州大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科)

教育講演 13

- 5月29日(土) 12:20~13:20 第1会場
 座長 池田俊郎(まつおか小児科)
 EL13 自己免疫性脳炎の基礎と臨床
 佐久間 啓(公益財団法人東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野)

教育講演 14

- 5月29日(土) 9:00~10:00 第2会場
 座長 難波栄二(鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科)
 EL14 保険診療となるマイクロアレイ染色体検査の小児神経疾患領域での運用
 山本俊至(東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学専攻遺伝子医学分野, 東京女子医科大学
 遺伝子医療センター・ゲノム診療科)

教育講演 15

- 5月29日(土) 10:10~11:10 第2会場
 座長 稲葉雄二(長野県立こども病院神経小児科)
 EL15-1 小児期から認知されるべき疾患「脳髄黄色腫症」—脳神経内科医の立場から—
 関島良樹(信州大学医学部脳神経内科, リウマチ・膠原病内科)
 EL15-2 小児期から認知されるべき疾患「脳髄黄色腫症」—小児科医の立場から—
 稲葉雄二(長野県立こども病院神経小児科)

シンポジウム (S89~132)

シンポジウム 1: ADHD の周辺にある併存症について理解を深める

- 5月27日(木) 13:30~15:30 第2会場
 座長 加賀佳美
 (山梨大学医学部小児科, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的発達障害研究部)
 金村英秋(東邦大学医療センター佐倉病院小児科)
 S1-1 ADHD の併存症 —不安, うつ, Tourette 症—
 金生由紀子
 (東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野, 東京大学医学部附属病院こころの発達診療部)
 S1-2 ADHD の併存症 —てんかん—
 金村英秋(東邦大学医療センター佐倉病院小児科)
 S1-3 注意欠陥多動性障害 (ADHD) と睡眠障害
 福水道郎^{1,2,3,4}, 長尾ゆり¹, 野崎真紀¹, 上東雅子¹, 小島泰子¹, 木村一恵¹, 星野恭子¹, 林 雅晴¹,
 中川栄二^{2,3}, 松井健太郎^{3,4}, 都留あゆみ^{3,4}, 大槻 怜^{3,4}, 長尾賢太郎^{3,4}, 吉池卓也^{3,4}, 栗山健一^{3,4}
 (昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科², 国立精神・神経医療研究センター病院睡眠障害センター³, 国立精神・神経医療研究センター病院精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部⁴)
 S1-4 ADHD の併存症 —限局性学習障害—
 加賀佳美
 (山梨大学医学部小児科, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的発達障害研究部)

シンポジウム 2：神経筋疾患，新しい治療の時代へ

5月27日（木）15:40～17:40 第2会場

座長 石垣景子（東京女子医科大学小児科）
小牧宏文（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）

- S2-1 デュシェンヌ型筋ジストロフィーの治療，治療研究最前線
小牧宏文（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）
- S2-2 脊髄性筋萎縮症における臨床試験と治療実装
齋藤加代子（東京女子医科大学遺伝子医療センターゲノム診療科）
- S2-3 福山型先天性筋ジストロフィーの臨床試験にむけた治療開発
戸田達史（東京大学大学院医学系研究科神経内科学）
- S2-4 筋強直性ジストロフィーにおける病態解明の進歩と治療開発
高橋正紀（大阪大学大学院医学系研究科生体病態情報科学）
- S2-5 Pompe 病における治療開発と第二世代酵素補充療法
石垣景子（東京女子医科大学医学部小児科）

シンポジウム 3：疾患モデルとしての iPS 細胞の未来

5月27日（木）10:10～12:10 第3会場

座長 藤井克則（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）
粟屋智就（京都大学大学院医学研究科形態形成機構学）

- S3-1 脊髄性筋萎縮症と iPS 細胞
吉田路子（京都市立病院小児科）
- S3-2 遺伝性早老症ウェルナー症候群と iPS 細胞
前澤善朗（千葉大学大学院医学研究院内分泌代謝・血液・老年内科学）
- S3-3 iPS 細胞を用いた筋疾患の病態解析
吉田健司¹，櫻井英俊²（京都大学大学院医学研究科発達小児科学¹，京都大学 iPS 細胞研究所²）

シンポジウム 4：神経を見る化する画像技術の進歩

5月27日（木）15:40～17:40 第3会場

座長 藤井克則（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）
山中 岳（東京医科大学小児科）

- S4-1 見える化する MRI の進歩
横田 元（千葉大学大学院医学研究院画像診断・放射線腫瘍学）
- S4-2 小児の神経筋疾患の超音波診断
石山昭彦（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）
- S4-3 MR neurography と末梢神経疾患
吉井祥子（千葉大学大学院小児病態学）

シンポジウム 5：ゲーム症の脳科学的病態解明と治療

5月28日（金）13:30～15:30 第2会場

座長 作田亮一（獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター）
友田明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）

- S5-1 ADHD を中心に神経発達症における報酬系機能の障害とゲーム症
滝口慎一郎^{1,2}
（平谷こども発達クリニック¹，福井大学医学部附属病院子どものこころ診療部²）
- S5-2 報酬系の脳研究の最前線とゲーム障害
野元謙作，神作憲司（獨協医科大学医学部生理学）
- S5-3 インターネットゲーム障害の治療 一当院における入院治療の試み—
井上 建（獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター）
- S5-4 ゲーム症専門治療機関からの現状報告と課題
樋口 進（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター）

シンポジウム 6：虐待による乳幼児頭部外傷（AHT）に向き合うために知っておきたいこと

5月28日（金）15:40～17:40 第2会場

座長 奥村彰久（愛知医科大学医学部小児科）
埜中正博（関西医科大学脳神経外科）

- S6-1 「虐待による乳幼児頭部外傷に対する日本小児科学会の見解」の概要
仙田昌義（総合病院国保旭中央病院）
- S6-2 AHT について 一小児科医の立場から—
丸山朋子（大阪急性期総合医療センター小児科新生児科）
- S6-3 AHT について 一脳神経外科医の立場から—
井原 哲（東京都立小児総合医療センター脳神経外科）

- S6-4 虐待による乳幼児頭部外傷について —法医学の立場から—
小谷泰一（三重大学大学院医学系研究科法医学科学）
- S6-5 医学の常識は司法の非常識なのか？
酒井邦彦（TMI 総合法律事務所）

シンポジウム 7：患者会と進める日本レット症候群研究・治療の現状

5月28日（金）13:30～15:30 第4会場

- 座長 伊藤雅之
（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部，東京都保健医療公社多摩北部医療センター小児科）
松石豊次郎（聖マリア病院小児総合研究センター・レット症候群研究センター）
- S7-1 レット症候群 overview —これまでとこれから—
伊藤雅之（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部，東京都保健医療公社多摩北部医療センター小児科）
- S7-2 MECP2 遺伝子変異と臨床像との関連 —機能喪失型（レット症候群）と機能獲得型（MECP2 重複症候群）—
高橋 悟（旭川医科大学小児科）
- S7-3 レット症候群モデルマウスを用いた病態解明と治療応用への展望
高橋知之（久留米大学高次脳疾患研究所，久留米大学医学部小児科）
- S7-4 レット症候群の臨床的研究 ガイドブック作成から見えてきたこと
青天目 信（大阪大学大学院医学系研究科小児科，大阪大学医学部附属病院てんかんセンター）
- S7-5 グレリンを用いたレット症候群の新規治療法開発 —世界の治療開発のレビューを含めて—
弓削康太郎（久留米大学小児科）
- S7-6 治療法開発を目指した患者会の活動
谷岡哲次（NPO 法人レット症候群支援機構）

シンポジウム 8：脳性麻痺診療アップデート

5月28日（金）15:40～17:40 第4会場

- 座長 荒井 洋（社会医療法人大道会ポバース記念病院小児神経科）
萩野谷和裕（宮城県こども病院）
- S8-1 多様化する病態と包括的診断
北井征宏，平井聡里，奥山直美，廣恒実加，西本静香，平野翔堂，荒井 洋
（社会医療法人大道会ポバース記念病院小児神経科）
- S8-2 小児片麻痺における上肢機能向上のためのエビデンスに基づくリハビリテーション
香取さやか（北海道立子ども総合医療・療育センター）
- S8-3 適切な痙縮治療と整形外科治療選択
金城 健（沖縄県立南部医療センターこども医療センター小児整形外科）
- S8-4 成人期に明らかとなる諸問題とその予防
荒井 洋（社会医療法人大道会ポバース記念病院小児神経科）

シンポジウム 9：医療的ケア児の災害時ネットワーク作成 —非小児神経科医の視点—

5月28日（金）13:30～15:30 第5会場

- 座長 小篠史郎（熊本大学病院小児在宅医療支援センター）
石井雅宏（産業医科大学小児科）
- S9-1 熊本地震の経験から学んだ災害支援
中本さおり（認定 NPO 法人 NEXTEP）
- S9-2 医療的ケア児の災害時ネットワーク作成 —新生児科医の視点—
大木 茂（聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター新生児科）
- S9-3 日々のお出かけが災害対策になる
松丸実奈（NPO 法人にこり）
- S9-4 報道関係者から見た医療的ケア児の災害対策
三宅大介（西日本新聞社編集局社会部）
- S9-5 北九州市医療的ケア児調査と災害にかかる調査から見えてきたこと
篠原愛子（北九州市保健福祉局障害福祉部障害者支援課）

シンポジウム 10：小児神経領域における緩和ケアの今とこれから —10 年先を見据えて—

5月28日（金）15:40～17:40 第5会場

- 座長 前垣義弘（鳥取大学医学部脳神経小児科）
吉良龍太郎（福岡市立こども病院小児神経科）
- S10-1 診療において緩和ケアの視点に気づくとき
岡崎 伸（大阪市立総合医療センター小児神経内科）

- S10-2 子どもの声を代弁する
 笹月桃子 (西南女学院大学保健福祉学部, 九州大学病院小児科)
- S10-3 看護師が“その子らしさ”を感じる時
 松岡真里 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)
- S10-4 小児神経疾患における緩和ケアニーズ
 余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)

シンポジウム 11: 新生児低酸素性虚血性脳症の最前線 —長期発達予後—

- 5月29日(土) 12:20~14:20 第2会場
 座長 岩田欧介 (名古屋市立大学新生児・小児医療分野)
 高橋立子 (東北文化学園大学総合発達研究センター附属国児の杜クリニック)
- S11-1 中等症・重症脳症の長期予後
 津田兼之介 (名古屋第二赤十字病院小児科)
- S11-2 低酸素性虚血性脳症後の脳性麻痺の臨床像
 北井征宏, 平井聡里, 奥山直美, 廣恒実加, 西本静香, 平野翔堂, 荒井 洋
 (社会医療法人大道会ポバース記念病院小児神経科)
- S11-3 新生児低酸素性虚血性脳症 —軽症脳症における急性期の課題—
 柴崎 淳 (神奈川県立こども医療センター新生児科)
- S11-4 軽症脳症の長期発達と今後の課題
 竹内章人 (国立病院機構岡山医療センター新生児科・小児神経内科)

シンポジウム 12: てんかん性スパズムへの外科治療 —こんなに有効な脳梁離断と切除術—

- 5月29日(土) 9:00~11:00 第3会場
 座長 岡西 徹 (鳥取大学脳神経小児科)
 藤本礼尚 (聖隷浜松病院てんかん科)
- S12-1 てんかん性スパズムへの脳梁離断の臨床的背景と有効性
 本田涼子¹, 小野智憲², 戸田啓介³, 安 忠輝¹, 馬場啓至⁴
 (国立病院機構長崎医療センター小児科¹, 国立病院機構長崎医療センター脳神経外科², 国立病院機構長崎川棚医療センター脳神経外科³, 西諫早病院⁴)
- S12-2 重度精神発達遅滞を有する年長児・若年成人における転倒発作転帰と ADL 回復期間からみた脳梁離断術術式の検討
 香川幸太^{1,2}, 橋詰 顕^{1,2,3}, 片桐匡弘^{1,2}, 瀬山 剛^{1,2}, 岡村朗健^{1,2,4}, 栗栖 薫⁵, 飯田幸治^{1,2}
 (広島大学脳神経外科¹, 広島大学病院てんかんセンター², 太田川病院脳神経外科³, たかの橋中央病院脳神経外科⁴, 中国労災病院脳神経外科⁵)
- S12-3 定量的脳波解析から迫るてんかん性スパズムに対する多脳葉切除及び離断術の有効性
 飯村康司¹, 菅野秀宣¹, 大坪 宏² (順天堂大学医学部脳神経外科¹, トロント小児病院²)
- S12-4 てんかん性スパズムの発作時脳波解析による脳梁離断術の予後予測
 金井創太郎¹, 大栗聖由², 岡西 徹¹, 藤本礼尚³, 榎 日出夫⁴, 前垣義弘¹
 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科¹, 香川県立保健医療大学保健医療学部臨床検査学科², 聖隷浜松病院てんかんセンター³, 聖隷浜松病院小児神経科⁴)

シンポジウム 13: 小児神経科医にとっての医学研究 —臨床医が医学研究にどう関わっていくか—

- 5月29日(土) 12:20~14:20 第3会場
 座長 村松一洋 (自治医科大学小児科)
 粟屋智就 (京都大学大学院医学研究科形態形成機構学)
- S13-1 小児神経臨床から基礎脳科学研究に転じて
 三國貴康 (新潟大学脳研究所)
- S13-2 臨床医と基礎研究者の隔たり
 城所博之 (名古屋大学医学部小児科)
- S13-3 私の医学研究の選択 —基礎と臨床の橋渡し—
 石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)
- S13-4 小児神経科医への基礎研究のススメ
 三牧正和 (帝京大学医学部小児科)

シンポジウム 14: 小児の睡眠障害の最新トピック

- 5月29日(土) 12:20~14:20 第4会場
 座長 林 雅晴 (淑徳大学看護栄養学部看護学科)
 星野恭子 (昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)
- S14-1 小児の睡眠時無呼吸
 加藤久美 (特定医療法人愛仁会太田睡眠科学センター, 大阪大学大学院連合小児発達医学研究科)

S14-2 小児のむずむず脚症候群

長尾ゆり, 木村一恵, 福水道郎, 野崎真紀, 林 雅晴, 星野恭子
(昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)

S14-3 小児における睡眠導入薬治療

林 雅晴 (淑徳大学看護栄養学部看護学科)

S14-4 ナルコレプシーと神経発達症と H1N1 インフルエンザ

神林 崇^{1,2,3}, 富永杜絵¹, 石戸秀明¹, 入鹿山容子¹, 木村昌由美¹, 近藤英明^{1,3} (筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構¹, 茨城県立こころの医療センター², 茨城県立睡眠医療クリニック³)

シンポジウム 15: 医療的ケア児の在宅医療

5月29日(土) 12:20~14:20 第5会場

座長 三浦清邦 (愛知県医療療育総合センター中央病院)
田中総一郎 (あおぞら診療所ほっこり仙台)

S15-1 医療的ケア児の在宅医療

前田浩利 (医療法人財団はるたか会)

S15-2 医療的ケア児の在宅移行支援と移行後に小児科医が担うべき役割

富田 直 (東京都立小児総合医療センター在宅診療科, 東京都立小児総合医療センター神経内科)

S15-3 青森県における医療的ケア児支援多職種コンサルテーションチーム活動について

網塚貴介, 大瀧 潮 (青森県立中央病院成育科)

S15-4 地域に必要とされる在宅診療所のつくり方と地域ネットワークのつくり方

橋本和憲 (ひのでクリニック)

S15-5 診療所併設の医療型特定短期入所

熊田知浩 (医療法人くまだキッズ・ファミリークリニック)

共催シンポジウム (S133~144)

共催シンポジウム 1: 寝る子はそだつ (共催: ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス)

5月27日(木) 18:00~19:30 第5会場

座長 山形崇倫 (自治医科大学)

SSY1-1 子どもの健やかな成長のために —睡眠の重要性—

神山 潤 (東京ベイ浦安市川医療センター)

SSY1-2 睡眠から入る神経発達症診療

永光信一郎 (久留米大学医学部小児科)

ディスカッションテーマ: 睡眠に問題のある発達に問題のある子どもを見逃さないために

共催シンポジウム 2: 小児期 ADHD と併存疾患 —その診断法と治療法— (共催: 塩野義製薬株式会社 メディカルアフェアーズ部/武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス)

5月28日(金) 18:00~19:30 第2会場

座長 齊藤万比古 (恩賜財団母子愛育会愛育相談所)

SSY2-1 ADHD と ASD —理念型の比較, 診断および治療—

本田秀夫

(信州大学医学部子どものこころの発達医学教室, 信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部)

SSY2-2 ADHD と不安・気分障害

岡田 俊 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部)

SSY2-3 ADHD と愛着の問題

小平雅基 (総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科)

共催シンポジウム 3: 脊髄性筋萎縮症 (SMA) トータルケア最新情報 —患者さんの声を聴きながら— (共催: バイオジェン・ジャパン株式会社)

5月28日(金) 18:00~19:30 第3会場

座長 齊藤加代子 (東京女子医科大学遺伝子医療センターゲノム診療科)

SSY3-1 当センターの脊髄性筋萎縮症の治療経験 —5歳11か月で診断された III 型女児例—

木水友一 (大阪母子医療センター小児神経科)

SSY3-2 広島大学病院小児科における脊髄性筋萎縮症の診療状況と早期に治療開始できた I 型症例の経過について

石川暢恒 (広島大学病院小児科)

SSY3-3 乳児型脊髄性筋萎縮症の早期診断の重要性と早期治療を目指した取り組み

栗野宏之 (神戸大学病院小児科)

SSY3-4 脊髄性筋萎縮症 2, 3 型を有する患者の診断・治療・フォローアップ

本橋裕子 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

共催シンポジウム 4：本邦における脊髄性筋萎縮症（SMA）に対する遺伝子補充療法 —発売から 1 年を迎えて—
 （共催：ノバルティス ファーマ株式会社）

5 月 29 日（土）9:00～10:30 第 4 会場

座長 齋藤加代子（東京女子医科大学遺伝子医療センターゲノム診療科）
 山形崇倫（自治医科大学小児科）

SSY4-1 ゴルゲンスマの臨床試験成績 update と Restore 登録について

齋藤加代子（東京女子医科大学遺伝子医療センターゲノム診療科）

SSY4-2 1 歳 11 か月で Onasemnogene abeparvovec 治療を行った脊髄性筋萎縮症 I 型患者の運動発達

桑島真理, 山形崇倫（自治医科大学小児科）

SSY4-3 脊髄性筋萎縮症（SMA）早期診断の重要性とオナセムノゲン アベバルボベク使用経験

小俣 卓（千葉県こども病院神経科）

SSY4-4 オナセムノゲン アベバルボベク治療を行った脊髄性筋萎縮症患児に対するリハビリテーション

長谷川三希子（獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション科）

共催シンポジウム 5：デュシェンヌ型筋ジストロフィーの治療 Up Date（共催：日本新薬株式会社）

5 月 29 日（土）9:00～10:30 第 5 会場

座長 小牧宏文（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）

SSY5-1 デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者に対するエクソン 53 スキッピング治療の有効性と安全性

船戸道徳（国立病院機構長良医療センター小児科）

SSY5-2 DMD のリハビリテーションと機能評価について

三浦利彦, 石川悠加（国立病院機構北海道医療センター神経筋/成育センター）

SSY5-3 成人 DMD 患者の治療について

荒畑 創（国立病院機構大牟田病院脳神経内科）

学会委員会主催セミナー（S145～168）

共同研究支援委員会主催セミナー：小児科医の関わる共同研究 —早産児ビリルビン脳症の多角的研究と臨床応用—

5 月 27 日（木）10:10～12:10 第 4 会場

座長 倉橋宏和（愛知医科大学医学部小児科）
 森本昌史（京都府立医科大学看護学科医学講座小児科学）

CS1-1 早産児ビリルビン脳症の全国調査

奥村彰久（愛知医科大学医学部小児科）

CS1-2 アンバウンドビリルビンを用いた早産児のための新黄疸治療基準による黄疸管理

森岡一朗（日本大学医学部小児科）

CS1-3 新生児黄疸の遺伝的背景

柳 貴英（滋賀医科大学小児科学講座）

CS1-4 早産児におけるビリルビン代謝の評価

日下 隆（香川大学医学部小児科学講座）

CS1-5 ビリルビン脳症の後遺障害に対する治療計画

荒井 洋（社会医療法人大道会ボバース記念病院小児神経科）

社会活動・広報委員会主催セミナー 1：障害児虐待予防に向けた取り組み —ペアレント・トレーニング—

5 月 27 日（木）15:40～17:40 第 4 会場

座長 永井利三郎（桃山学院教育大学教育学部教育学科）
 米山 明（全国療育相談センター）

CS2-1 自閉スペクトラム症に対するペアレントトレーニング

井上雅彦（鳥取大学医学系研究科臨床心理学講座）

CS2-2 マルチサイト無作為化比較研究 ADHD に特化したペアレントトレーニング Well Parent Japan
 （WPJ）—研究成果を支援の現場へ—

鳥袋静香（沖縄科学技術大学院大学）

CS2-3 発達障がいのある子どもの保護者の養育レジリエンス向上 —不適切な子育てを防止する社会活動—

江上千代美¹, 田中美智子², 塩田 昇¹, 山下裕史朗³

（福岡県立大学看護学部¹, 宮崎県立看護大学², 久留米大学³）

CS2-4 児童福祉施設職員を対象としたペアレント・トレーニングの実践

長瀬美香¹, 山下 浩²

（心身障害児総合医療療育センター小児科¹, さいたま市子ども家庭総合センター²）

CS2-5 早期発達支援を目的としたペアレントトレーニング —Telehealth モデル—

松崎敦子（三育学院大学看護学部）

災害対策小委員会主催セミナー：新型コロナウイルス感染をどのように乗り切ろうとしているのか

5月27日(木) 10:10~12:10 第5会場

座長 遠藤雄策(浜松市発達医療総合福祉センター)

木村重美

(兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション睡眠と発達医療センター)

CS3-1 子ども達にとっての新型コロナウイルス

森内浩幸(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科)

CS3-2 新型コロナウイルス感染症に対して東京都の小児行政病院が行ったこと

富田 直(東京都立小児総合医療センター在宅診療科, 東京都立小児総合医療センター神経内科)

CS3-3 コロナ禍での療育施設における重症心身障がい児(者)の対応と課題

竹本 潔(大阪発達総合療育センター小児科)

CS3-4 コロナ感染拡大時人工呼吸器児の診療提案書作成と岩手県の医療体制再構築について

赤坂真奈美(岩手医科大学小児科)

CS3-5 災害時小児呼吸器地域ネットワークの現状

木村重美(兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション睡眠と発達医療センター)

倫理委員会・COI委員会主催セミナー：医学研究と生命倫理と法

5月28日(金) 11:10~12:20 第3会場

座長 伊東恭子(京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)

CS4 医学研究に適用される法令・指針 ー最近の動きー

丸山英二(神戸大学)

社会保険小委員会主催セミナー：小児神経領域における心理職の役割について考える

5月28日(金) 13:30~15:30 第3会場

座長 田沼直之(東京都立府中療育センター)

星野恭子(昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)

CS5-1 医療分野における心理職の動向

今村扶美(国立精神・神経医療研究センター病院)

CS5-2 療育機関における心理職の役割

持丸由紀子(東京都北療育医療センター)

CS5-3 大学病院における心理職の役割

酒井玲子(愛知医科大学病院こころのケアセンター)

CS5-4 個人クリニックにおける心理職の役割

原田剛志(パークサイドこころの発達クリニック)

CS5-5 小児神経学会や関連学会としての提言

米山 明(全国療育相談センター)

薬事小委員会主催セミナー：神経筋疾患の最新の遺伝子治療を考える

5月28日(金) 15:40~17:10 第3会場

座長 中川栄二(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

石垣景子(東京女子医科大学小児科)

CS6-1 遺伝子治療薬の開発状況と問題点

中川栄二(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

CS6-2 筋ジストロフィーに対する国産初の核酸医薬品創出デュシェンヌ型筋ジストロフィーのエクソン・スキップ治療

青木吉嗣(国立精神・神経医療研究センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部)

CS6-3 遺伝子治療開発における臨床試験の実際

山形崇倫(自治医科大学小児科学)

CS6-4 ライソゾーム病とペルオキシソーム病の患者における、遺伝子治療に関する態度と知識の調査横井貴之¹, 大橋十也^{1,2}, 衛藤義勝^{1,3}(東京慈恵会医科大学小児科学講座¹, 東京慈恵会医科大学総合医学研究センター遺伝子治療研究部², 脳神経疾患研究所先端医療研究センター³)**CS6-5 臨床現場における遺伝子治療の問題点**

石垣景子(東京女子医科大学医学部小児科)

社会活動・広報委員会主催セミナー2：小児-成人移行医療

5月29日(土) 15:00~17:00 第1会場

座長 米山 明(全国療育相談センター)

三牧正和(帝京大学小児科)

CS7-1 成育基本法を踏まえて今後の移行期医療に望むこと

自見はなこ(参議院議員)

- CS7-2 小児-成人移行医療 —小児神経科領域での現状と課題—
阿部裕一 (国立成育医療研究センター神経内科)
- CS7-3 成人神経科領域での小児期からの慢性 (神経) 障害者の診療の現状と課題
齊藤利雄 (国立病院機構大阪刀根山医療センター小児神経内科)
- CS7-4 在宅医療における小児期から成人期にいたる包括的ケア
一ノ瀬英史 (いちのせファミリークリニック)
- CS7-5 ダウン症児者への新たな取り組み —小児から成人期まで切れ目のない支援—
小野正恵 (東京通信病院小児科)

国際化推進委員会主催セミナー —海外支援：発展途上地域における日本小児神経学会の果たすべき役割—

- 5月29日 (土) 15:00~17:00 第2会場
座長 石原尚子 (藤田医科大学小児科)
石川悠加 (国立病院機構北海道医療センター)
- CS8-1 日本小児神経学会への期待
山本尚子 (世界保健機関)
- CS8-2 海外支援から考える社会モデルとしてのリハビリテーション —30年間にわたる地方行政との連携—
板東あけみ^{1,2}, 関谷 滋¹, 小沢 浩¹, 西村陽子¹, 内藤誠二¹
(ベトナムの子ども達を支援する会¹, 国際母子手帳委員会²)
- CS8-3 ケニアのひとりは地球の大切なひとり —ケニアの療育現場から—
公文和子 (シロアムの園)

医療安全委員会主催セミナー —神経領域の医療安全の更なる発展に向けて—

- 5月29日 (土) 15:00~17:00 第3会場
座長 村松一洋 (自治医科大学小児科)
宮本雄策 (聖マリアンナ医科大学小児科)
- CS9-1 脳波等生理検査鎮静の医療安全におけるこれまでの取組と提言公開後の実態調査結果報告
是松聖悟 (中津市立中津市民病院)
- CS9-2 West 症候群に対する ACTH 療法を安全に施行するための手引き —パブリックコメントに答えて—
山内秀雄 (埼玉医科大学小児科¹, 埼玉医科大学病院てんかんセンター²)
- CS9-3 医療的ケア児の医療安全 —腕頭動脈出血と胃瘻カテーテル誤挿入の予防—
石井光子 (千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科)
- CS9-4 訴訟リスクを減らすことができる小児神経医療とは
中下裕子 (コスモス法律事務所)

実践教育セミナー (S169~186)

実践教育セミナー1：こどもの頭痛 —6名の師範と実戦稽古—

- 5月26日 (水) 14:00~16:00 第1会場
座長 西村 陽 (京都第一赤十字病院新生児科, 京都府立医科大学小児科)
正田敏之 (ひきた小児科クリニック, 帝京大学医学部小児科)
- JES1-1 小児周期性症候群について
正田敏之 (ひきた小児科クリニック, 帝京大学医学部小児科)
- JES1-2 てんかんと頭痛 —類似・相違点—
中澤友幸 (東京都保健医療公社豊島病院小児科)
- JES1-3 心身症としての慢性連日性頭痛の診かた
永井 章 (国立成育医療研究センター総合診療部総合診療科)
- JES1-4 起立性調節障害に共存する一次性頭痛の対応
下村英毅 (兵庫医科大学小児科)
- JES1-5 後頭葉てんかんと片頭痛の症候学
榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター・小児神経科)
- JES1-6 頭痛を理由に学校にいけない症例について
白石一浩 (宇多野病院小児科)

実践教育セミナー2：初めて小児神経学を学ぶ人のための実践教育セミナー

- 5月26日 (水) 14:00~16:00 第2会場
座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
- JES2-1 乳幼児の診察法・知っておきたい基礎知識
久保田雅也 (島田療育センター)
- JES2-2 脳CT・MRIの正しい読み方とピットフォール
塩浜 直 (千葉大学医学部附属病院小児科)

JES2-3 急性脳症の ABC —診断から治療まで—

永瀬裕朗 (神戸大学大学院医学研究科小児科こども急性疾患学)

実践教育セミナー 3: 第 8 回遺伝学実践教育セミナー —Web で学ぶ小児神経科医に必須の遺伝子解析の解釈の仕方—

5月26日(水) 14:00~16:00 第3会場

座長 小坂 仁 (自治医科大学小児科)

齋藤伸治 (名古屋市立大学新生児・小児医学分野)

JES3-1 網羅的ゲノム解析の結果をどのように解釈するか

山本俊至 (東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野, 東京女子医科大学遺伝子医療センターゲノム診療科)

JES3-2 原因不明の小児神経疾患に遺伝学的検査をどのように実施するか —具体的な進め方—

酒井康成 (九州大学小児科学)

JES3-3 小児神経疾患に対する遺伝子解析での遺伝カウンセリング

和田敬仁 (京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野)

JES3-4 模擬エクソーム解析実習

高野亨子 (信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター)

実践教育セミナー 4: 小児の睡眠と神経疾患

5月26日(水) 16:30~19:00 第1会場

座長 安元佐和 (福岡大学医学教育推進講座)

金村英秋 (東邦大学佐倉病院小児科)

JES4-1 小児・思春期の睡眠外来

小曾根基裕 (久留米大学医学部精神神経科)

JES4-2 睡眠ポリグラフ検査の施行と判読

八木朝子 (太田総合病院記念研究所附属診療所太田睡眠科学センター)

JES4-3 概日リズム・睡眠と自律神経機能

豊浦麻記子

(兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター)

JES4-4 小児睡眠障害の治療

福水道郎^{1,2,3,4}, 野崎真紀¹, 長尾ゆり¹, 上東雅子¹, 小島泰子¹, 木村一恵¹, 星野恭子¹, 林 雅晴¹, 中川栄二^{2,3}, 松井健太郎^{3,4}, 都留あゆみ^{3,4}, 大槻 怜^{3,4}, 長尾賢太郎^{3,4}, 吉池卓也^{3,4}, 栗山健一^{3,4}
(昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科², 国立精神・神経医療研究センター病院睡眠障害センター³, 国立精神・神経医療研究センター病院精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部⁴)

JES4-5 てんかん前頭葉発作の診断と睡眠時随伴症群との鑑別

遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科, 新潟大学医歯学総合病院遺伝医療支援センター)

実践教育セミナー 5: 小児科医のための神経画像 2021

5月26日(水) 16:30~19:00 第2会場

座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)

JES5-1 小児神経画像の正常とアーチファクト

森 壘 (自治医科大学医学部放射線医学講座)

JES5-2 先天代謝異常症(尿素回路, アミノ酸, 有機酸, 脂肪酸)の画像診断

榎園美香子 (東京都立小児総合医療センター診療放射線科)

JES5-3 新たな白質ジストロフィーの画像診断

高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

JES5-4 小児頭部外傷の特徴と画像診断 —読影に必要な解剖学的基礎知識—

宇都宮英綱 (帝京大学医学部放射線科学講座)

実践教育セミナー 6: 誤診から学ぶ (2)

5月26日(水) 16:30~18:30 第3会場

座長 久保田雅也 (島田療育センター)

杉田克生

(千葉市療育センター小児神経科, 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター)

JES6-1 診断エラーとは?

杉田克生 (千葉市療育センター小児神経科, 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター)

JES6-2 医療行動学について —センメルヴァイスの業績から—

久保田雅也 (島田療育センター)

JES6-3 神経内科の現場から誤診について考える

早川 格 (国立成育医療研究センター器官病態内科部神経内科)

JES6-4 総合診療科の現場から誤診について考える
生坂政臣 (千葉大学医学部附属病院総合診療科)

ランチオンセミナー (S187~196)

ランチオンセミナー 1 (共催: サノフィ株式会社)

5月27日(木) 12:30~13:20 第1会場
小児神経医が見逃してはならない治療薬のある希少疾患
座長 渡邊順子 (久留米大学小児科)

LS1-1 大阪大学小児科, 神経代謝・臨床遺伝研究室でのライソゾーム病診断戦略
澁谷与扶子 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

LS1-2 動画と画像でみる治療可能な神経筋疾患の鑑別ポイント
石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)

ランチオンセミナー 2 (共催: ノバルティス ファーマ株式会社)

5月27日(木) 12:30~13:20 第2会場
TSC (結節性硬化症) 治療の現状と課題
座長 藤本礼尚 (聖隷浜松病院てんかんセンター)

LS2-1 結節性硬化症の治療におけるパラダイムシフト —mTOR 阻害薬の登場意義—
阿部裕一 (国立成育医療研究センター神経内科)

LS2-2 結節性硬化症患者にエベロリムスを適切に使用するためのマネジメント
齋藤貴志 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

ランチオンセミナー 3 (共催: 第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社)

5月27日(木) 12:30~13:20 第3会場
LS3 小児てんかんにおける全般起始発作と治療方法
座長 白石秀明 (北海道大学病院小児科)
演者 岡西 徹 (鳥取大学脳神経小児科)

ランチオンセミナー 4 (共催: 大塚製薬株式会社メディカル・アフェアーズ部)

5月27日(木) 12:30~13:20 第4会場
LS4 自閉スペクトラム症の小児期体験
座長 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院)
演者 牧之段 学 (奈良県立医科大学医学部精神医学講座)

ランチオンセミナー 5 (共催: J C R ファーマ株式会社)

5月27日(木) 12:30~13:20 第5会場
LS5 ムコ多糖症 II 型の治療 Update
座長 濱崎考史 (大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学)
演者 成田 綾 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)

ランチオンセミナー 6 (共催: エーザイ株式会社)

5月28日(金) 12:30~13:20 第1会場
LS6 子どもの成長発達を考慮した薬剤整理の意義 —抗てんかん薬のシンプル処方—
座長 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)
演者 榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター)

ランチオンセミナー 7 (共催: 大塚製薬株式会社)

5月28日(金) 12:30~13:20 第2会場
LS7 意外に身近な薬剤性カルニチン欠乏症
座長 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
演者 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)

ランチオンセミナー 8 (共催: 塩野義製薬株式会社/武田薬品工業株式会社)

5月28日(金) 12:30~13:20 第3会場
LS8 神経発達症児診療の基本を再考する
座長 広瀬宏之 (横須賀市療育相談センター)
演者 荒木章子 (札幌市子ども発達支援総合センター)

ランチョンセミナー 9 (共催：ノバルティス ファーマ株式会社)

5月28日(金) 12:30~13:20 第4会場

LS9 Realizing the potential of gene therapy for SMA : Clinical trial and real-world experience

座長 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)
 演者 Kevin A. Strauss (Clinic for Special Children)

ランチョンセミナー 10 (共催：武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス)

5月28日(金) 12:30~13:20 第5会場

LS10 小児てんかん重積状態の初期治療を考える

座長 前垣義弘 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
 演者 菊池健二郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

ランチョンセミナー 11 (共催：バイオジェン・ジャパン株式会社)

5月29日(土) 11:20~12:10 第1会場

LS11 脊髄性筋萎縮症の診断・治療 —患者さん・ご家族をささえる治療の実際と、評価方法 update—

座長 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)
 演者 岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)

ランチョンセミナー 12 (共催：BioMarin Pharmaceutical Japan 株式会社)

5月29日(土) 11:20~12:10 第2会場

治療可能な神経変性疾患 セロイドリポフスチン症 2 型 (CLN2)

座長 衛藤義勝 (東京慈恵会医科大学)

LS12-1 治療可能な神経変性疾患 神経セロイドリポフスチン症 2 型の診断のポイント

成田 綾 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)

LS12-2 CLN2 に対する酵素補充療法製剤を用いた治療経験

福田冬季子 (浜松医科大学小児科)

ランチョンセミナー 13 (共催：ヤンセン ファーマ株式会社)

5月29日(土) 11:20~12:10 第3会場

LS13 注意欠如多動症 (ADHD) と併存症

座長 友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)
 演者 齊藤卓弥 (北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門)

ランチョンセミナー 14 (共催：アレクシオンファーマ合同会社)

5月29日(土) 11:20~12:10 第4会場

発達・歩容の異常から気づく骨疾患を鑑別する —ALP 低値を見逃さない—

座長 秋山倫之 (岡山大学病院小児神経科)

LS14-1 鑑別診断ののち酵素補充療法が導入され、移動能力に著明な改善を認めた HPP 合併脳性麻痺患者の一例

田村太資 (地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センターリハビリテーション科)

LS14-2 「乳歯の早期脱落と歩容異常」から HPP 診断に至った一例 —この症例から始まった地域の疾患啓発—

佐藤秀夫 (鹿児島大学病院発達系歯科センター小児歯科)

ランチョンセミナー 15 (共催：第一三共株式会社) ※このセミナーは医療関係者を対象にしています。

医療関係者以外の聴講はご遠慮ください

5月29日(土) 11:20~12:10 第5会場

LS15 脳性麻痺児・者の緊張に対する包括的介入

座長 根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南)
 演者 荒井 洋 (社会医療法人大道会ボバース記念病院小児神経科)

イブニングセミナー (S197, 198)

イブニングセミナー 1 (共催：エーザイ株式会社 メディカル本部)

5月27日(木) 18:00~18:50 第1会場

小児てんかんの予後改善を、服薬アドヒアランス、認知行動から考える

座長 高橋幸利 (静岡てんかん・神経医療センター)

ES1-1 服薬アドヒアランスの観点から

山本吉章 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

ES1-2 小児てんかんの長期予後を考える —認知・行動・心理面の発達を鑑みた小児てんかん診療—

金村英秋 (東邦大学医療センター佐倉病院小児科)

イブニングセミナー 2 (共催：リヴァノヴァ株式会社)

5月27日(木) 18:00~18:50 第2会場

小児薬剤抵抗性てんかん患者に対するチーム医療での取り組み

座長 榎 日出夫 (聖隷浜松病院 てんかんセンター長)

ES2-1 小児における薬剤抵抗性てんかん患者への集学的治療戦略 —小児科の立場から—

下野九理子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター)

ES2-2 小児における薬剤抵抗性てんかん患者への集学的治療戦略 —脳神経外科の立場から—

谷 直樹 (大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科)

関連研究会

第 12 回日本小児免疫性脳炎研究会：抗 MOG 抗体症候群

5月27日(木) 18:00~20:00 第3会場

座長 島川修一 (大阪医科大学小児科)

酒井康成 (九州大学大学院医学研究院成長発達医学)

夏目 淳 (名古屋大学障害児医療学寄附講座)

RS1-1 招待講演① 小児の抗 MOG 抗体関連疾患：小児における表現型の拡大

川上沙織 (福岡市立こども病院小児神経科)

RS1-2 招待講演② 小児発症抗 MOG 抗体関連疾患患者の実態把握のための全国調査研究

東川幸嗣 (あずまがわ小児科クリニック)

RS1-3 招待講演③ 抗 MOG 抗体症候群：小児例の特徴

金子仁彦 (日本赤十字社石巻赤十字病院脳神経内科)

RS1-4 特別講演 神経内科における抗 MOG 抗体関連疾患の臨床像

中原 仁 (慶應義塾大学神経内科)

第 5 回小児ニューロリハビリテーション研究会・第 6 回超早産児発達症研究会：小児リハビリテーションにつながる最新の話

5月29日(土) 15:00~17:00 第4会場

座長 小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)

荒井 洋 (社会医療法人大道会ポバース記念病院)

RS2-1 超早産と発達性協調運動症

岩永竜一郎 (長崎大学医学部保健学科)

RS2-2 早産児に発症する限局性学習症の視覚情報処理能力

福井美保 (大阪医科大学小児科)

第 6 回小児免疫性神経筋疾患研究会：明日から役立つ！ 重症筋無力症の基礎と臨床シンポジウム

5月29日(土) 15:00~17:00 第5会場

座長 石垣景子 (東京女子医科大学小児科)

稲葉雄二 (長野県立こども病院神経小児科)

RS3-1 特別講演：重症筋無力症の診療最前線

鈴木重明 (慶應義塾大学脳神経内科)

RS3-2 11歳で胸腺摘除術を行った潜在性全身型の重症筋無力症の1例

米衛ちひろ (鹿児島大学医学部附属病院小児科)

RS3-3 リッキシマブにて反応がなく胸腺摘除に至った全身型重症筋無力症の1男児例

渋谷守栄 (宮城県立こども病院神経科)

RS3-4 小児重症筋無力症の最近の治療と小児の胸腺摘除の適応に関して

佐藤孝俊 (東京女子医科大学小児科)

English Session 1 : Best English Session Award 1

May 27 13:30–14:10 Room 6

Chair Katsuhiko Kobayashi (Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Department of Child Neurology, Okayama, Japan)
 Shinji Saitoh (Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan)

E-01	Satoshi Akamine	Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan	Loss of GNAO1 causes aberrant polarity and firing of developing neurons in human brain organoids
E-02	Eisuke Ichise	Department of Pediatrics, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan	Functional and transcriptomic analysis of <i>STXBPI</i> encephalopathy iPSC-derived GABAergic neurons
E-03	Mariko Kasai	Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan	AESD-associated microRNAs and target genes are involved in inflammatory responses
E-04	Akiko Shibata	Department of Developmental Medical Sciences, School of International Health, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Japan	<i>IL-1B</i> polymorphism in acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion

English Session 2 : Best English Session Award 2

May 27 14:20–15:00 Room 6

Chair Toshiki Takenouchi (Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan)
 Hiroyuki Kidokoro (Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan)

E-05	Yuji Ito	Department of Pediatrics, Aichi Prefecture Mikawa Aoitori Medical and Rehabilitation Center for Developmental Disabilities, Aichi, Japan	Decreased gait efficiency and gait quality in school-aged children born late preterm
E-06	Yoshiko Nomura	RIKEN Center for Brain Science, Wako, Japan	Cellular models of 1q21.1 deletion and duplication syndrome using human ES-derived neural cells
E-07	Koyuru Kurane	Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan	The Potential of practical Internet-Delivered Parent-Child Interaction Therapy in the COVID-19 era
E-08	Yoshihiko Saito	Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan	Clinicopathological features of children with laminopathy

English Session 3 : Genetics, Genetic abnormality

May 27 15:10–16:10 Room 7

Chair Yasunari Sakai (Graduate School of Medical Sciences, Department of Pediatrics, Kyushu University, Fukuoka, Japan)
 Hirotomo Saito (Department of Biochemistry, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan)

E-09	Yuji Nakamura	Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan	PNPLA8 deficiency induces microcephaly and reduces neurogenesis in a brain organoid model
E-10	Yoshie Kurokawa	Department of Pediatrics, Jichi Medical University	The expression of SCN4A may account for the CNS symptoms in a case of paramyotonia congenita
E-11	Masaki Mori	National Cerebral and Cardiovascular Center, Osaka, Japan	Bex1 is juvenile-expressed IDP implicated in cerebellar and retinal morphogenesis
E-12	Teruyuki Tanaka	Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan	Evaluation of functional connectivity in the brain of <i>Cdk15</i> mutant mice by the Ca ²⁺ imaging and fMRI
E-13	Hirofumi Kashii	Department of Neuropediatrics, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, Tokyo, Japan	Two siblings with hereditary spastic paraplegia (SPG9B) due to biallelic mutations in ALDH18A1
E-14	Kyoko Hoshino	Segawa Memorial Neurological Clinic for Children, Tokyo, Japan	RDP-DYT12 phenotype consistency for a novel variant of ATP1A3 in patients across three populations

English Session 4 : Epilepsy, Encephalitis/Encephalopathy

May 27 16:20-17:20 Room 7

Chair Yoshihiro Maegaki (Division of Child Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, Japan)

Shinsuke Maruyama (Department of Pediatrics, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima University, Kagoshima, Japan)

E-15	Hideki Hoshino	Department of Pediatrics, Teikyo University, Tokyo, Japan	An infant case of hemiplegic migraine with ATP1A2 mutation in a coarse like acute encephalopathy
E-16	Hideo Enoki	Comprehensive Epilepsy Center, Seirei Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan	Four cases of Panayiotopoulos syndrome evolving to juvenile myoclonic epilepsy
E-17	(演題取り下げ)		
E-18	Ayataka Fujimoto	Comprehensive epilepsy center, Seirei Hamamatsu general hospital	Long-term outcomes of two patients with progressive myoclonic epilepsy treated with VNS therapy
E-19	Masaya Kubota	NCCHD, Tokyo, Japan	Spontaneous movements after diagnosis of clinical brain death : a lesson from acute encephalopathy
E-20	Yoko Takahashi	Division of Pediatric Neurology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan.	Road to diagnosis : profiling the diagnostic odyssey in pediatric acute disseminated encephalomyelitis

English Session 5 : Others

May 28 11:20-12:20 Room 6

Chair Tetsuro Nagasawa (Raffles Japanese Clinic, Paediatrics)

Osuke Iwata (Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan)

E-21	Yuko Motohashi	Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry	Effect of nusinersen in Japanese patients with spinal muscular atrophy type 2 and 3
E-22	Yoshifumi Mizuno	Department of Psychiatry & Behavioral Sciences, Stanford University School of Medicine, Stanford, CA, USA	Effects of methylphenidate on aberrant brain network dynamics in children with ADHD
E-23	Makoto Nabetani	Yodogawa Christian Hospital	Review of recent clinical trials using umbilical cord derived- MSC for neurological disorders
E-24	Tadashi Shiohama	Department of Pediatrics, Chiba University Hospital, Chiba, Japan	Whole-brain morphometric study in children with sensorineural hearing loss
E-25	Takahiro Abiko	Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine	Correlation between non-specific amino acid deviations and developmental or intelligence quotient
E-26	Ayami Ozaki	Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan	The 11 Cases of Dusty Core Disease (DuCD) with RYR1 compound heterozygous variants in Japan

一般演題（口演）1：優秀賞 1

5月27日（木）10:10～11:00 第6会場

座長 松尾宗明（佐賀大学小児科）
遠山 潤（国立病院機構西新潟中央病院神経小児科）

O-001	植松賢司	防衛医科大学小児科	DNM1L 変異による早期乳児てんかん性脳症患者由来 iPS 細胞から分化誘導した神経細胞におけるミトコンドリア形態の解析
O-002	池田 梓	神奈川県立こども医療センター神経内科	ビガバトリン関連脳 MRI 異常と中枢 GABA 濃度上昇についての検討
O-003	荒川篤康	国立精神・神経医療研究センター病院	結節性硬化症に伴うてんかんに対するエベロリムスの効果の検討
O-004	宮本洋輔	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	けいれん重積型急性脳症の予後因子の検討
O-005	中村拓自	佐賀大学医学部小児科	インフルエンザ感染症に関連して発症する辺縁系脳炎、睡眠障害に関する調査研究

一般演題（口演）2：優秀賞 2

5月27日（木）11:10～11:50 第6会場

座長 佐々木征行（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）
永光信一郎（久留米大学小児科）

O-006	池田尚広	自治医科大学小児科	光トポグラフィー検査を用いた ADHD に対するグアンファシン (GXR) の脳機能学的薬理作用の可視化
O-007	川口将宏	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	拡散テンソル画像を用いたデュシェンヌおよびベッカー型筋ジストロフィーの脳画像解析
O-008	舞鶴賀奈子	京都大学医学部附属病院小児科	銅トランスポーター CTR1 異常による新規遺伝性銅欠乏症の病態解明
O-009	北原 光	大阪医科大学附属病院小児科	コロナ流行時長期休校後の発達障害児の心身への影響

一般演題（口演）3：発達

5月27日（木）15:10～16:10 第6会場

座長 小沢 浩（島田療育センターはちおうじ）
金子美香（こぐま学園診療所小児科）

O-010	前田知己	大分大学医学部小児科	Fidgety 運動判定精度調査 — 反復判定演習による判定精度の向上効果 —
O-011	古川 源	藤田医科大学医学部小児科	運動発達遅滞で受診した患者の転帰
O-012	植田里枝子	独立行政法人国立病院機構西別府病院小児科	腹臥位で general movements (GMs) 評価は可能か
O-013	(演題取り下げ)		
O-014	松永愛香	国立病院機構南九州病院小児科	当院でリハビリテーションを行っているハイリスク児の発達予後
O-015	中村裕子	鳥取大学医学部脳神経小児科	脳構造異常のない大頭症の後方視的研究

一般演題（口演）4：自閉スペクトラム症

5月27日（木）16:20～17:20 第6会場

座長 関あゆみ（北海道大学大学院教育学研究院）
小西行彦（香川大学小児科）

O-016	久米里佳	国立病院機構舞鶴医療センター小児科	繰り返す自傷行為に対してフルボキサミンが著効した Rubinstein-Taybi 症候群の男児例
O-017	杉田克生	千葉市療育センター小児神経科	自閉スペクトラム特性児の社会情動的能力評価
O-018	橋本俊顕	徳島赤十字ひのみね総合療育センター	血中ストレスマーカー、CRP は自閉症スペクトラム障害の症状の程度を反映する
O-019	中山智博	茨城県立医療大学付属病院小児科	鼓膜深部体温は自閉症スペクトラム障害のバイオマーカーとなりうる第5報
O-020	小枝達也	国立成育医療研究センター	5歳でASDと診断した幼児の1歳6か月児健診での医師所見に関する検討
O-021	花岡 繁	松戸市こども発達センター	自閉スペクトラム症に対するリスペリドン少量療法の好ましい効果

一般演題（口演）5：ADHD・LD

5月27日（木）10:10～11:10 第7会場

座長 中井昭夫（武庫川女子大学 教育研究所／大学院 臨床教育学研究科／子ども発達科学研究センター）
宮島 祐（東京家政大学子ども学部子ども支援学科）

O-022	荻野竜也	福山市こども発達支援センター	幼児用 Callous Unemotional Traits (CU) 評価尺度の意義
O-023	黒神経彦	国立成育医療研究センターこころの診療部	「もぐら一ず」を利用した注意欠陥/多動性障害特性予測モデルの確立
O-024	江尻勇樹	鳥田療育センター小児科	注意欠如・多動症もしくは自閉スペクトラム症を有する4-8歳児の血清フェリチン値
O-025	大守伊織	岡山大学大学院教育学研究科	ADHD 患児および保護者の服薬アドヒアランス
O-026	森 健治	徳島大学医学部子どもの保健・看護学分野	読字活動時における脳反応について —NIRS による解析—
O-027	関 あゆみ	北海道大学大学院教育学研究院	ひらがなの読みに困難を認める児童の語彙力と音読能力・音韻課題成績の関係

一般演題（口演）6：発達障害の療育・支援・福祉

5月27日（木）11:20～12:10 第7会場

座長 沢石由記夫（秋田県立医療療育センター小児科）
広瀬宏之（横須賀市療育相談センター）

O-028	山田博之	鳥取大学脳神経小児科	鳥取県における医療的ケア児の有病率と臨床的特徴：地域住民ベースの縦断的研究
O-029	井上 建	獨協医科大学埼玉医療センター	トゥレット症の8歳男児に対する包括的行動的介入（CBIT）の実践
O-030	林 優子	県立広島大学保健福祉学部附属診療センター小児科	発達専門外来受診児の高校年齢時の予後
O-031	栗原亜紀	多摩北部医療センター小児科	地域中核病院での発達障害の診療と支援 続報
O-032	相良壮馬	大阪大学医学部医学科	中高大学生による発達障害に関する課題解決の取り組み —inochi Gakusei Innovators' Program 2020 の成果—

一般演題（口演）7：脳性麻痺

5月27日（木）13:30～14:10 第7会場

座長 市山高志（鼓ヶ浦こども医療福祉センター）
香取さやか（北海道立子ども総合医療・療育センター）

O-033	川口達也	西部島根医療福祉センター小児科	バクロフェン髄注療法が奏効した蘇生後脳症に伴う痙性四肢麻痺の1例
O-034	小野早織	東京都立東部療育センター	腹臥位装置付き車椅子の導入により、QOLの改善を認めた3例
O-035	奥山直美	社会医療法人大道会ポバース記念病院小児科	HADSを用いた脳性麻痺児・者の不安・抑うつ傾向の調査
O-036	川崎詩歩未	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻	脳性麻痺児に対する home-based rehabilitation robot training の効果検証に関する中間報告

一般演題（口演）8：重症心身障害

5月27日（木）14:20～15:00 第7会場

座長 口分田政夫（びわこ学園医療福祉センター草津）
内山伸一（国立病院機構西別府病院小児科）

O-037	李 容桂	愛仁会リハビリテーション病院小児科	気管切開管理を要する医療的ケア児への在宅療養支援の実績報告
O-038	大萱俊介	愛知県医療療育総合センター中央病院	急性肺炎を発症した重症心身障害児（者）についての検討
O-039	若本裕之	愛媛県立子ども療育センター小児科	重症心身障害児における血清 KL-6 と胸部 CT 所見の関係についての研究
O-040	和田恵子	東京小児療育病院小児科	重症心身障害児者の胆嚢の所見 MRCP (magnetic resonance cholangio-pancreatography) と腹部エコーでの比較

一般演題（口演）9：自律神経、頭痛

5月27日（木）10:10～11:10 第8会場

座長 鈴木雄一（福島県立医科大学小児科）
山中 岳（東京医科大学小児科・思春期科学分野）

O-041	井坂雅子	西宮回生病院小児科	当院における起立負荷試験症例の再検討
O-042	栗原栄二	北原ライフサポートクリニック小児神経内科	起立性調節障害に対する半夏白朮天麻湯の有用性
O-043	石田 悠	東京医科大学八王子医療センター	小児頭痛外来における一次性穿刺様頭痛の臨床像
O-044	渋谷守栄	宮城県立こども病院神経科	本人が発案した頭痛ダイアリーにより慢性連日性頭痛の改善経過を可視化できた1例
O-045	西岡 誠	長野県立こども病院神経小児科	再発性有痛性眼麻痺性ニューロパチーに対してステロイドパルス治療が奏効した15歳女子例
O-046	守山汐理	国家公務員共済組合連合会立川病院小児科	前兆期リザトリプタン内服とアミトリプテン予防投与が奏効した重症周期性嘔吐症の1例

一般演題 (口演) 10: てんかん 治療 1

5月27日(木) 11:20~12:10 第8会場

座長 秋山倫之 (岡山大学病院小児神経科)
石井清久 (佐賀整肢学園こども発達医療センター小児科)

O-047	高須倫彦	東京都保健医療公社豊島病院	熱性けいれん重積におけるベンゾジアゼピン抵抗性の検討
O-048	松浦隆樹	埼玉県立小児医療センター神経科	遷延性発作と頻発発作に対するロラゼパム静注療法の有効性と安全性
O-049	吉永治美	国立病院機構南岡山医療センター小児神経科	小児てんかん重積状態に対するミダゾラム口腔内投与の有効性, 安全性, 及び薬物動態: 日本での多施設共同非盲検第3相臨床試験
O-050	吉永治美	国立病院機構南岡山医療センター小児神経科	医療機関外における小児てんかん重積状態へのミダゾラム口腔内投与: 多施設共同非盲検第3相継続試験
O-051	岸 高正	国家公務員共済組合連合会広島記念病院小児科	ABCG2 遺伝子多形を有するてんかん患者にみられたバルプロ酸による高尿酸血症

一般演題 (口演) 11: てんかん 治療 2

5月27日(木) 13:30~14:20 第8会場

座長 石川暢恒 (広島大学病院小児科)
池田ちづる (国立病院機構熊本再春医療センター小児科)

O-052	柴田有里	佐野厚生総合病院小児科	レベチラセタムによる新生児薬物離脱症候群
O-053	山岸裕和	自治医科大学小児科	当科におけるペランパネルの3年間の使用経験
O-054	後藤康平	久留米大学医学部小児科	ケトン食療法とペランパネル併用3例の臨床的考察
O-055	青木雄介	あいち小児保健医療総合センター神経内科	けいれん重積型二相性脳症後の驚愕てんかんにペランパネルが著効した1例
O-056	岡崎 伸	大阪市立総合医療センター小児神経内科	小児期発症難治てんかん症例へのペランパネルの投与2年後の効果

一般演題 (口演) 12: てんかん 治療 3

5月27日(木) 14:30~15:30 第8会場

座長 日暮憲道 (東京慈恵会医科大学小児科)
井原由紀子 (福岡大学小児科)

O-057	石田航平	岩見沢市立総合病院小児科	過去5年間における岩見沢市立総合病院での小児てんかん診療のまとめ
O-058	柏木 充	市立ひらかた病院小児科	小児期発症の焦点てんかんにおけるラコサミドを第一選択とした有効性と安全性
O-059	若林 慶	自治医科大学小児科	ラコサミドの治療効果, 内服継続率と副作用の検討
O-060	沼本真吾	愛知医科大学病院小児科	良性乳児てんかんに対するラコサミド
O-061	星野廣樹	東邦大学医療センター佐倉病院小児科	小児焦点てんかんにおけるてんかん性突発波に対するラコサミドの早期治療の有効性
O-062	渡辺好宏	横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター	Lacosamide の有害事象からみる, 長期使用に向けた課題と対策

一般演題 (口演) 13: てんかん 診断・遺伝子

5月27日 (木) 15:40~16:30 第8会場

座長 岡成和夫 (大分大学医学部小児科)
中村和幸 (山形大学医学部小児科)

O-063	河野 修	国立精神・神経医療研究センター小児神経科	病理解剖例を含む小児交互性片麻痺の長期経過追跡
O-064	倉橋宏和	愛知医科大学医学部小児科	当院のてんかん外来における遺伝子解析の有用性
O-065	丸金拓哉	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (岡山大学病院小児神経科)	2歳発症で尿メタボローム解析で診断されたピリドキシン依存性てんかんの9歳女児例
O-066	井上健司	東京都立神経病院神経小児科	West 症候群を発症した AIFM1 遺伝子変異の1例
O-067	江川 潔	北海道大学医学部小児科	アンジェルマン症候群モデルマウスにおけるけいれん閾値の年齢依存的変化 —フルロチル吸入誘発法による検証—

一般演題 (口演) 14: 遺伝・遺伝子異常 1

5月28日 (金) 9:00~10:10 第6会場

座長 高橋 悟 (旭川医科大学小児科)
鳥尾倫子 (九州大学病院小児科)

O-068	土田晃輔	札幌医科大学医学部小児科	FGF14 遺伝子バリエントを認めた発作性非運動誘発性ジスキネジアの1例
O-069	萩原 翔	千葉大学大学院医学研究院小児病態学	難治な点頭発作に対して long-term weekly ACTH 療法が有効だった CK 症候群の1例
O-070	若林知宏	札幌医科大学小児科	上肢の常同運動を捕捉した MECP2 重複症候群の1例
O-071	原田由紀子	稲荷山医療福祉センター小児科	関節拘縮を呈した DeSanto-Shinawi 症候群の1例
O-072	藤本真徳	名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野	トリソミーレスキューを原因とする父性片親ダイソミーのモザイク型 Angelman 症候群の1例
O-073	鈴木健史	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	レット症候群の歩行異常 —三次元歩行解析を用いた検討—
O-074	上東雅子	医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	瀬川病合併妊娠例の検討

一般演題 (口演) 15: 遺伝・遺伝子異常 2

5月28日 (金) 13:30~14:40 第6会場

座長 井上貴仁 (福岡大学筑紫病院小児科)
栗屋智就 (京都大学大学院医学研究科/外胚葉性疾患創薬医学講座)

O-075	甲州希理	自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科	非進行性の皮質下びまん性白質病変を合併した 17p13.3 微小欠失症例
O-076	佐藤恵美	名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者) 医療学寄附講座	PUM1 関連疾患の重症例は乳児期に発症し、重度発達遅滞、難治性てんかんを中心とした特徴的な症状を示す
O-077	平出拓也	浜松医科大学医化学	KCNJ5 遺伝子バリエントは不完全浸透を示し家族性周期性四肢麻痺の原因になる
O-078	西條晴貴	神奈川県立こども医療センター遺伝科	従来よりも広い表現型スペクトラムを呈した COL12A1 異常症の2家系
O-079	梶井 靖	武田薬品工業株式会社 T-CiRA ディスカバリー	知的障害を伴う遺伝性発達障害である NGLY1 欠損症の治療可能性へのアプローチ
O-080	井上 健	国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部	先天性大脳白質形成不全症の診断サポート —コンサルテーションを通じた疾患遺伝子変異の同定—
O-081	檜木 仁	国保水俣市立総合医療センター小児科	POLR1C 変異症例から示唆された Pol III 関連白質変性症の新規分子病態 —スプラシング異常仮説の提唱—

一般演題（口演）16：代謝性疾患

5月28日（金）14:50～16:00 第6会場

座長 成田 綾（鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科）
久保田一生（岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学）

O-082	秋山倫之	岡山大学小児神経科	小児神経疾患患者における尿中メタボローム解析の経験
O-083	川合裕規	岐阜大学科学研究基盤センターゲノム研究分野	ペルオキシソーム病診断およびスクリーニング検査としての胆汁酸中間代謝産物測定法の開発
O-084	松本志郎	熊本大学生命科学研究部小児科学講座	有機酸代謝異常における神経細胞内代謝バランスと治療戦略
O-085	兵頭勇紀	岡山大学病院小児神経科	セピアプテリン還元酵素欠損症における尿中、髄液中セピアプテリン測定
O-086	宮田世羽	杏林大学医学部小児科	グアニジノ酢酸メチル基転移酵素欠損症に対するクレアチン・オルニチン補充の効果
O-087	仲村貞郎	琉球大学病院小児科	重篤な経過をたどったフマル酸代謝異常症と考えられた同胞2例の臨床経過
O-088	林 歩実	東邦大学医学部大学院小児科	神経症状を有する Wilson 病症例の臨床経過に関する検討

一般演題（口演）17：神経変性疾患

5月28日（金）16:10～17:10 第6会場

座長 青天目信（大阪大学大学院医学系研究科小児科）
細矢光亮（福島県立医科大学小児科）

O-089	園田有里	九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野	インターフェロン α 脳室内投与により良好な長期経過を示した亜急性硬化性全脳炎の男児
O-090	橋本梨沙	国立精神・神経医療研究センター小児神経科	亜急性硬化性全脳炎の遷延性意識障害に対する長期 TRH 療法の効果
O-091	米元耕輔	九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野	ヒト誘導ミクログリアを用いた亜急性硬化性全脳炎の病態解析
O-092	瀬邊 翠	大阪市立大学小児科	MRI 所見から診断に至ったシャルルヴォア・サグネ型痙性失調症の14歳男子例
O-093	石原尚子	藤田医科大学医学部小児科	視覚・聴覚障害で発症し、PEX1 遺伝子に複合ヘテロ変異を認めた乳児型 Refsum 病の男児例
O-094	歌川純平	岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科構造医学	Apple Watch を用いた新規運動機能定量評価法の開発 —小児神経筋疾患への応用に向けて—

一般演題（口演）18：COVID-19 関連

5月28日（金）9:00～9:50 第7会場

座長 小篠史郎（熊本大学病院 小児在宅医療支援センター）
田中総一郎（あおぞら診療所ほっこり仙台）

O-095	青柳閣郎	山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科	発達障害児における新型コロナウイルス感染症に係る臨時休校の影響
O-096	菊池健二郎	埼玉県立小児医療センター神経科	小児期発症てんかん患者の新型コロナウイルス感染症流行期における電話診療の状況
O-097	星野恭子	医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	当院のオンライン診療のアンケート調査結果
O-098	河崎洋子	にこにこハウス医療福祉センター	重症心身障害児者における COVID-19 対策について、兵庫県内6カ所の重症児者施設での取り組みの紹介
O-099	豊嶋大作	兵庫県立こども病院神経内科	コロナ禍における感染対策で熱性けいれんの発症が減少する

一般演題 (口演) 19: 睡眠障害

5月28日 (金) 11:20~12:20 第7会場

座長 福水道郎 (昌仁醫修会 瀬川記念小児神経学クリニック)
矢野珠巨 (秋田大学医学部小児科)

O-100	木村重美	兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション睡眠と発達医療センター	概日リズム睡眠覚醒障害を持つ子どもの深部体温は高い
O-101	小島泰子	医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	乳幼児期の睡眠障害・神経発達症における貯蔵鉄の重要性
O-102	平野翔堂	社会医療法人大道会ポバース記念病院小児神経科	当院における脳性麻痺患者の不眠症に対する投薬の現状と効果
O-103	前田夢吉	福井大学医学部小児科	ラメルテオン 214 例の使用経験と年齢別の有効性の比較
O-104	泉 鉉吉	独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター小児科	当院の神経発達症に対するメラトバル製剤の有効性
O-105	野崎真紀	医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	当院にてメラトバルを使用した 60 例について

一般演題 (口演) 20: てんかん, 他

5月28日 (金) 13:30~14:20 第7会場

座長 白石秀明 (北海道大学病院小児科)
藤田貴子 (福岡大学医学部小児科)

O-106	浅倉佑太	自治医科大学小児科	欠神発作を合併した遅発性小児後頭葉てんかん女子例
O-107	安藤悠開	NTT 東日本札幌病院小児科	てんかん発作と鑑別を要した身震い発作 2 例
O-108	田中竜太	茨城県立こども病院小児科	NAT 技術を用いた定量的脳波解析の小児への適用に向けた予備研究
O-109	是松聖悟	日本小児神経学会医療安全委員会	脳波等生理検査鎮静時の医療安全に関する提言についての実態調査
O-110	岩谷祥子	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	脳波の中心側頭部棘波が認知機能に及ぼす影響についての検討

一般演題 (口演) 21: 画像

5月28日 (金) 14:30~15:40 第7会場

座長 宇都宮英綱 (帝京大学医学部放射線科学講座)
高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

O-111	牧 祐輝	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	結節性硬化症患者における EEG-fMRI と FDG-PET を組み合わせたてんかん焦点推定
O-112	下野九理子	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	結節性硬化症診療における脳炎症 PET の意義
O-113	佐野賢太郎	東京女子医科大学八千代医療センター小児科	MR スペクトロスコピーにてグルタミン・グルタミン酸の高値を認めた SPTAN1 関連発達性てんかん性脳症の 1 例
O-114	永井由紗	国立成育医療研究センター	肝不全乳児例に認めた血中マンガン濃度正常の両側淡蒼球の拡散制限
O-115	卜部馨介	大阪医科大学小児科	急性骨髄性白血病の初発時に脳梁膨大部病変を認めた 1 例
O-116	吉井祥子	千葉大学大学院小児病態学	MR neurography を用いた小児末梢神経疾患の評価
O-117	伊藤智城	市立札幌病院小児科	MELAS の頭部画像病変の長期的変化と臨床経過について —3 症例のまとめ—

一般演題 (口演) 22: West 症候群, 他 1

5月28日(金) 15:50~16:40 第7会場

座長 植松 貢 (東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野)

島川修一 (大阪医科大学附属病院小児科)

O-118	高松 朋子	東京医科大学小児科	フローサイトメトリーを用いた West 症候群の末梢血由来細胞の免疫学的検討
O-119	橋本 修二	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科	特発性視床出血後, West 症候群を発症した女児例
O-120	今井 憲	長野県立こども病院神経小児科	当院におけるウエスト症候群の病因分類別に見た予後の検討
O-121	福田 光成	東京都立神経病院神経小児科	当院における点頭てんかんに対するピガバトリンの使用経験
O-122	小林 光	山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科	BCG 接種スケジュール変遷に伴う West 症候群の治療選択への影響; 単施設 25 年間の後方視的検討

一般演題 (口演) 23: 脊髄性筋萎縮症

5月28日(金) 9:00~10:20 第8会場

座長 齊藤利雄 (国立病院機構大阪刀根山医療センター)

栗野宏之 (神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科)

O-123	堀部 拓哉	兵庫医科大学病院	脊髄性筋萎縮症 1 型進行例に対するヌシネルセン投与による呼吸機能の変化
O-124	八戸 由佳子	久留米大学医学部小児科	粗大運動機能に制限がある進行脊髄性筋萎縮症患者を対象としたヌシネルセンの有効性評価方法の検討
O-125	二宮 央	岐阜県総合医療センター小児科	オナセムノゲンアベパルボベクを投与した脊髄性筋萎縮症の 1 例
O-126	加久 翔太郎	聖マリアンナ医科大学小児科	オナセムノゲンアベパルボベクを投与した, 侵襲的呼吸管理を回避できている脊髄性筋萎縮症 1 型の 3 例
O-127	矢崎 耕太郎	大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学	オナセムノゲン アベパルボベク投与後に血栓性微小血管症をきたした脊髄性筋萎縮症 1 型の 1 例
O-128	竹島 泰弘	兵庫医科大学小児科	FIREFISH Part 2: 脊髄性筋萎縮症 (SMA) I 型患者におけるリスジプラムの 24 か月投与時の有効性及び安全性
O-129	齋藤 加代子	東京女子医科大学遺伝子医療センターゲノム診療科	SUNFISH Part 2: 脊髄性筋萎縮症 (SMA) II 型及び歩行不能 III 型患者におけるリスジプラムの 24 か月投与時の有効性及び安全性
O-130	李 知子	兵庫医科大学小児科	脊髄性筋萎縮症に対する新生児スクリーニングについての意識調査

一般演題 (口演) 24: 新生児・早産児・周産期脳障害

5月28日(金) 11:20~12:30 第8会場

座長 加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)

前田知己 (大分大学医学部小児科)

O-131	城所 博之	名古屋大学医学部小児科	新生児発作波形検出プログラムの早産児発作への応用
O-132	北井 征宏	社会医療法人大道会ボバース記念病院小児神経科	早産脳性麻痺の出生年, 在胎期間と病態との関連
O-133	小林 修	大分大学小児科	極低出生体重児の乳児早期の自発運動は幼児期の感覚の特性と関連する
O-134	日高 欣哉	出口小児科医院	早産児および神経発達症児の視覚認知/興味の特徴 (第 2 報)
O-135	神谷 千織	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	生後 1 か月児の感覚特性と周産期要因・母親の精神状態の関連性の検討
O-136	居相 有紀	大阪医科大学附属病院小児科	WISC-IV による極低出生体重児と非低出生体重 ADHD 児の認知プロフィールの比較検討
O-137	高橋 章仁	倉敷中央病院小児科	生後早期の血清ビリルビン値が新生児低酸素性虚血性脳症児の 3 歳時予後と関連している

一般演題 (口演) 25: 筋 1

5月28日 (金) 13:30~14:40 第8会場

座長 榑原崇文 (奈良県立医科大学小児科)
元木崇裕 (愛媛大学医学部小児科)

O-138	小野浩明	県立広島病院小児科	乳幼児期から軽度発達遅滞を示し、LAMA2 遺伝子変異を認めメロシン部分欠損型筋ジストロフィーと診断した1例
O-139	鶴川慎一郎	国立病院機構舞鶴医療センター小児科	先天性白内障、滑脳症、筋緊張低下を呈し、筋生検により Walker-Warburg 症候群の診断に至った超低出生体重児例
O-140	山口 宏	神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科	デュシェンヌ型/ベッカー型筋ジストロフィーにおける血清トロポニン I の比較と心機能との関連の検討
O-141	末永祐太	国立精神・神経医療研究センター小児神経科	小児期に Becker 型筋ジストロフィーと診断された患者の臨床的特徴
O-142	山本幸佑	名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野	BICD2 遺伝子変異による下肢型脊髄性筋萎縮症 2 型 1 例の長期経過
O-143	室伏佑香	国立成育医療研究センター神経内科	LMNA 遺伝子変異に伴う先天性筋ジストロフィーの最重症例
O-144	齊藤真規	長野県立こども病院神経小児科	RAPSN 遺伝子のスプライシング異常により先天性筋無力症候群を呈した小児例

一般演題 (口演) 26: 筋 2

5月28日 (金) 14:50~16:10 第8会場

座長 本橋裕子 (国立精神・神経医療研究センター小児神経科)
チョン ピンフィー (福岡市立こども病院小児神経科)

O-145	大野綾香	広島西医療センター小児科	遺伝カウンセリングを契機に肢体型筋ジストロフィー 2C/R5 に診断名が変更された1例
O-146	佐藤孝俊	東京女子医科大学小児科	筋ジストロフィーにおける BNP と NT-proBNP との相関性
O-147	伊藤拓郎	NTT 東日本札幌病院小児科	偶発的に発見された高 CK 血症から筋ジストロフィーと診断された 9 例の検討
O-148	(演題取り下げ)		
O-149	栗野宏之	神戸大学大学院医学研究科小児科	アジア人において、FKRP 遺伝子変異は先天性筋ジストロフィー 1C と肢帯型筋ジストロフィー 2I を発症する
O-150	石黒久美子	東京女子医科大学医学部小児科	福山型先天性筋ジストロフィー患者における必須微量元素の評価
O-151	神内 済	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	早期進行型心筋症を合併した Duchenne 型筋ジストロフィー 7 例の臨床的検討
O-152	七字美延	東京女子医科大学小児科	本邦における筋強直性ジストロフィー患者の医療的ケアの実態 (全国調査) 先天性/小児期発症の回答の検討

一般演題 (口演) 27: 脳外科領域 1

5月29日 (土) 9:00~9:50 第6会場

座長 埜中正博 (関西医科大学脳神経外科)
井原 哲 (東京都立小児総合医療センター脳神経外科)

O-153	塩田 恵	東京女子医科大学八千代医療センター小児科	偶然に発見された片側内頸動脈形成不全の 3 例
O-154	林 俊哲	宮城県立こども病院脳神経外科	小児もやもや病の術前脳梗塞リスクについて
O-155	金森啓太	東京都立小児総合医療センター神経内科	小児脳梗塞に対する急性期血行再建療法を目的とした医療体制の構築
O-156	乾 健彦	宮城県立こども病院神経科	髄液中胎盤型アルカリフォスファターゼ (PLAP) 測定が診断に有用だった胚細胞腫瘍の 2 例
O-157	國貞佳世	清恵会病院小児科	慢性硬膜下血腫に進展したくも膜嚢胞の 12 歳男児例

一般演題（口演）28：脳外科領域 2

5月29日（土）10:00～10:50 第6会場

座長 下川尚子（高邦会高木病院脳神経外科）
稲垣隆介（茨城県立こども病院）

O-158	松田慎平	順天堂大学小児科	小児水頭症における第三脳室底開窓術と VP シヤント術の長期予後
O-159	井田久仁子	国立病院機構静岡てんかん神経医療センター小児科	皮質形成異常のある自閉症の児におけるてんかん外科治療へ向けた多職種連携の取り組みの1例
O-160	田村友美恵	東京都立神経病院小児神経科	GNAO1 異常症に伴う life-threatening な不随意運動に対して緊急淡着球刺激療法が著効した1例
O-161	吉兼綾美	藤田医科大学医学部小児科	羞明とけいれん発作にて発症した中枢神経原発 ALK 陽性未分化大細胞リンパ腫の1例
O-162	白水洋史	国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科	学童期前に手術を行った視床下部過誤腫症例の治療成績

一般演題（口演）29：熱性けいれん/急性脳炎・脳症

5月29日（土）12:20～13:20 第6会場

座長 底田辰之（滋賀医科大学小児科）
前田寿幸（佐賀県医療センター好生館小児科）

O-163	大場千鶴	市立ひらかた病院小児科	一発熱機会にけいれん発作を反復する熱性けいれんの臨床的特徴
O-164	根本千裕	松戸市立総合医療センター小児医療センター小児科	ジアゼパム坐剤非投与下における初回有熱けいれん後のけいれん群発の頻度に関する研究
O-165	徳元翔一	神戸大学大学院医学研究科小児科	熱性けいれんと発熱患者におけるサイトカインの比較
O-166	石田悠介	兵庫県立こども病院神経内科	有熱性けいれん重積症例における意識障害遷延時間毎の AESD 発症リスク
O-167	前田真範	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	けいれん重積型急性脳症と熱性けいれん患者における血糖、血清クレアチニンの経時的变化
O-168	西山将広	神戸大学大学院医学研究科小児科	急性脳症・有熱性けいれん重積の前向き多施設レジストリより算出した有熱性けいれん重積に占める AESD 発症頻度

一般演題（口演）30：West 症候群，他 2

5月29日（土）13:30～14:20 第6会場

座長 亀井 淳（岩手医科大学医学部障がい児者医療学講座）
大戸達之（筑波大学医学医療系小児科）

O-169	宇佐美憲一	国立成育医療研究センター脳神経外科	脳梁離断術後の発作成績と離断症候群の予後予測因子
O-170	竹田洋子	奈良県立医科大学小児科	ACTH 療法における凝血学的凝固動態の後方視的検討
O-171	井上岳司	大阪市立総合医療センター小児神経内科	当院における late-onset spasms の臨床的特徴
O-172	島田浩平	琉球大学病院小児科	ACTH 療法が有効であった epileptic spasms without hypsarrhythmia (ESWoH) の1例
O-173	九鬼一郎	大阪市立総合医療センター小児神経内科	新生児期および乳児期早期からエベロリムスを投与した結節性硬化症の臨床経過

一般演題 (口演) 31: 感染, 免疫

5月29日 (土) 9:00~9:50 第7会場

座長 福與なおみ (東北医科薬科大学)
南 弘一 (和歌山県立医科大学小児科)

O-174	立石裕一	広島大学病院小児科	人工呼吸管理を要したバセドウ病合併重症筋無力症の1例
O-175	石川珠代	近江八幡市立総合医療センター小児科	急性散在性脳脊髄炎にぶどう膜炎を認めた男児例
O-176	南雲薫子	東京女子医科大学小児科	舞蹈病で発症した原発性抗リン脂質抗体症候群の男子例
O-177	西條直也	東北大学病院小児科	フマル酸ジメチルにて再発抑制が得られた多発性硬化症の9歳男児例
O-178	湯浅絵理佳	済生会宇都宮病院小児科	Mycoplasma pneumoniae 髄膜脳炎ではギランバレー症候群の合併に注意する

一般演題 (口演) 32: 急性脳炎・脳症 1

5月29日 (土) 10:00~11:00 第7会場

座長 柏木 充 (市立ひらかた病院小児科)
李 守永 (福岡市立こども病院集中治療科)

O-179	島崎 敦	佐世保市総合医療センター小児科	けいれん重積型急性脳症に心筋炎を合併した1例
O-180	河西彩香	長野県立こども病院臨床検査科	HHV-6感染による AESD 患者における脳脊髄液中 HHV-6 ウイルス量の検討
O-181	山本直寛	大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター, 小児神経内科	持続脳波モニタリングからみtakeいれん重積型 (二相性) 急性脳症の late seizure
O-182	河野 剛	聖マリア病院小児科	頭部 MRI で bright tree appearance を認めた急性脳症における体幹動揺と titubation
O-183	白木杏奈	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	低体温療法を施行した急性脳症における DSA と予後に関する検討
O-184	山口 宏	神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科	Growth and differentiation factor 15: 出血性ショック脳症症候群と他の有熱性けいれん性疾患の早期鑑別マーカーとしての検討

一般演題 (口演) 33: 急性脳炎・脳症 2

5月29日 (土) 12:20~13:30 第7会場

座長 河野 剛 (聖マリア病院小児科)
星野 愛 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)

O-185	岡田朋子	東京女子医科大学八千代医療センター小児科	なぜ急性巣状細菌性腎炎 (AFBN) は MERS を合併しやすいのか
O-186	中澤美賀	賛育会病院小児科	アデノウイルス関連脳炎・脳症の臨床像
O-187	吉橋 学	神奈川県総合リハビリテーションセンター	難治頻回部分発作重積型急性脳炎による高次脳機能障害と復学支援
O-188	服部有香	高槻病院小児科	治療経過中に中枢性尿崩症を認めた難治部分発作重積型急性脳炎の1例
O-189	松岡剛司	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	種々の抗炎症療法, 免疫介在療法を施行した AERRPS (acute encephalitis with refractory, repetitive partial seizures) の1例
O-190	星野 愛	東京大学大学院医学系研究科発達医科学	血清 miRNA に着目した難治頻回部分発作重積型急性脳炎の網羅的バイオマーカー探索
O-191	大橋瑛梨	国立成育医療研究センター	RANBP2 遺伝子変異陽性, CPT2 遺伝子多型を持つ反復性急性壊死性脳症 (ANE1) の1例

一般演題 (口演) 34: 移行期医療, 他

5月29日(土) 9:00~9:50 第8会場

座長 御牧信義 (倉敷成人病センター小児科)
水口 雅 (東京大学大学院医学系研究科)

O-192	野々山葉月	埼玉県立小児医療センター神経科	結節性硬化症における移行期医療の現状と今後の課題
O-193	宮崎あかね	長崎大学病院小児科	maltreatmentによる水中毒により無熱性けいれんを来した乳児例
O-194	山本崇裕	岐阜大学大学院医学系研究科小児科	移行期医療を試みた小児期発症神経疾患症例の検討
O-195	大戸達之	筑波大学附属病院小児科	当院小児神経外来における移行期医療 —成人診療グループとの連携—
O-196	池田憲二	東葛医療福祉センター光陽園小児科	当院における若年者への亜鉛欠乏の対応について

一般演題 (口演) 35: 不随意運動, 基底核疾患

5月29日(土) 10:00~11:00 第8会場

座長 竹下絵里 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
仲村貞郎 (琉球大学病院小児科)

O-197	成重勇太	宮城県立こども病院	ATP8A2脳症: ATP8A2変異による常染色体劣性遺伝性アテトーゼ型四肢麻痺の姉弟例
O-198	水流尚志	国立病院機構南九州病院小児科	ケトン食によって小児交互性片麻痺の発作症状が頻度, 程度もともに軽減した1例
O-199	深沢達也	安城更生病院小児科	振戦様の不随意運動を認めたミトコンドリア病の2例
O-200	萩田美和	島田療育センター小児科	薬剤性ジストニア(斜頸)の1例 —感覚トリックは運動トリックも含む—
O-201	藏田洋文	熊本再春医療センター小児科	開心術後に片側舞蹈運動を来した10歳女児例
O-202	大府正治	南部徳洲会病院小児科	小児のbelly dancer's dyskinesiaの1例

一般演題 (口演) 36: 自己免疫性脳炎

5月29日(土) 12:20~13:40 第8会場

座長 小俣 卓 (千葉県こども病院神経科)
鳥巢浩幸 (福岡歯科大学小児科)

O-203	小林良行	広島大学病院小児科	当科で経験した小児抗MOG抗体関連疾患の臨床像に関する検討
O-204	高橋幸利	静岡てんかん神経医療センター	単純ヘルペス脳炎経過中の免疫介在性脳炎発症機序の研究 —臨床・NMDA型GluR抗体(ELISA, CBA法)—
O-205	一宮優子	九州大学大学院医学研究院成長発達医学	抗MOG抗体関連疾患に見られる感覚障害
O-206	山田直紀	大阪市立総合医療センター小児神経内科	初発の急性脳炎から10年後の再発で診断しえた抗NMDA受容体脳炎の1例
O-207	友利伸也	帝京大学医学部小児科	発症早期からの血漿交換が著効した自己免疫性急性辺縁系脳炎が疑われる1例
O-208	福興なおみ	東北医科薬科大学医学部小児科	サトラリズマブを導入した小児期発症視神経脊髄炎関連疾患の1例
O-209	坂田雄祐	横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科	抗N-methyl-D-aspartate receptor脳炎にrituximabを投与した2例の検討
O-210	温井めぐみ	大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科	再発性の経過を示す抗MOG抗体関連疾患に対する再発予防治療の検討

フリーチャットディスカッション 1 5月28日(金) 8:00~9:00

一般演題(ポスター) 1: 優秀賞

P-001	田畑健士郎	国立精神・神経医療研究センター小児神経科	2p14 微細欠失を認めた知的発達症と特異的言語発達障害を有する1家系の臨床的・遺伝学的解析
P-002	孫 梟	九州大学大学院歯学研究院小児口腔医学分野	ダウン症候群の乳歯歯髄幹細胞から分化したドーパミン作動性ニューロンにおける神経突起発達とドーパミン調節障害
P-003	佐野史和	山梨大学医学部薬理学	けいれん重積後の IP3 受容体 2 型に依存するアストロサイト活性化はてんかん原生獲得に寄与する
P-004	森宗孝夫	滋賀医科大学小児科	若年性遺伝子 Tbc1d24 による cytoophidia 形成とてんかん性脳症への新規治療戦略
P-005	小松原孝夫	国立病院機構新潟病院小児科	薬物治療終結を試みた青年期特発性全般てんかんの再発予後に関する検討
P-006	今泉太一	聖マリアンナ医科大学小児科	Dravet 症候群および West 症候群における感染症後の発作軽快または消失に関する調査
P-007	平岩明子	国立病院機構西新潟中央病院神経小児科	若年ミオクロニーてんかん発症前から経過観察しえた症例の臨床脳波所見の経過
P-008	山内泰輔	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	難治性てんかん小児の脱力発作に対するてんかん外科の有効性
P-009	河合泰寛	神奈川県立こども医療センター神経内科	当院で経験した小児抗 NMDA 受容体脳炎 5 例と予後予測スコアの有用性についての検討
P-010	村田絵美	大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター	幼児の睡眠に影響を与える生活習慣の検討
P-011	樋口直弥	国立病院機構嬉野医療センター小児科	院内移行期カンファレンスを通じたてんかんトランジションについて

一般演題(ポスター) 2: 染色体異常 (CGH アレイ異常含む)

P-012	山本圭子	東京女子医科大学医学部輸血・細胞プロセシング科	Xq22 欠失女性患者由来 iPS 細胞を用いた病態解析
P-013	孫 梟	九州大学大学院歯学研究院小児口腔医学分野	DS 患者由来の乳歯歯髄幹細胞を用いて分化したドーパミン動作性ニューロンでは、神経発達とドーパミン調節障害をきたす
P-014	チョンビンフィー	福岡市立こども病院小児神経科	乳児期に哺乳不良を認めた Potocki-Lupski 症候群の 2 例

一般演題(ポスター) 3: 遺伝・遺伝子異常

P-015	森地振一郎	東京医科大学小児科・思春期科学分野	頭頂拡大、発達遅滞を契機に Bannayan-Riley-Ruvalcaba 症候群の診断に至った 1 例
P-016	西村直人	神奈川県立こども医療センター遺伝科	KAT6B ミスセンス変異は、Young-Simpson 症候群や Genitopatellar 症候群と異なる先天異常を呈する
P-017	梶本智史	医学研究所北野病院小児科	NKX2-1 関連疾患の 2 男児例
P-018	岡崎哲也	鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科	新規 DYRK1A 遺伝子バリエーションが同定されたてんかん、知的障害を有する 1 例
P-019	松下浩子	京都鞍馬口医療センター小児科	精神運動発達遅滞と眼球運動失行あり、ADAMTS9 遺伝子変異を認めた症例
P-020	西條晴美	東京都立東大和療育センター	COL4A1 遺伝子に新規変異を認めた家族性孔脳症の成人 2 例
P-021	松原祥恵	福岡市立こども病院小児神経科	点頭てんかんと早期進行性多嚢胞腎を認めた TSC2/PKD1 隣接遺伝子症候群の 1 例
P-022	足立美穂	岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学	頭部 MRI の所見が診断の契機となった TUBA1A 遺伝子変異による tubulinopathy の 1 例
P-023	大橋 圭	名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野	NAA15 遺伝子の変異に伴う重度知的発達症ならびに自閉スペクトラム症の男児の 1 例
P-024	松本貴子	兵庫県立尼崎総合医療センター	D-2-Hydroxyglutaric aciduria 1 の 10 歳女児例

一般演題 (ポスター) 3: 遺伝・遺伝子異常 つづき

P-025	大庭千尋	千葉大学大学院医学研究院小児病態学	Angelman 症候群様の症状を呈し SLC1A2 遺伝子変異を認めた 1 例
P-026	遠藤若葉	宮城県立こども病院神経科	生後小頭症, 厚脳回を呈する新規 TUBB4A 遺伝子変異の 1 例
P-027	小路 梓	佐賀大学小児科	結節性硬化症へのエベロリムス投与にて高 TG 血症と低 IgG 血症をきたした 3 か月乳児例
P-028	和田敬仁	京都大学大学院医学研究科医療倫理学・ 遺伝医療学分野	ATR-X 症候群に対するアミノレブリン酸による治療に向けての取り組み
P-029	新井田 要	金沢医科大学病院ゲノム医療センター	結節性硬化症における低頻度モザイク変異症例の遺伝子診断
P-030	柳下友映	東京女子医科大学小児科	日本人 4 人の HECW2 変異に起因する障害の検討
P-031	加藤辰輔	札幌医科大学小児科	進行する嚢胞性白質病変を呈した PPP2R5D 変異の女児例
P-032	平良遼志	九州大学大学院医学研究院成長発達医学 分野	GαO は細胞内カルシウム依存性シグナルを制御する
P-033	高野亨子	信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究 センター	月齢 1 か月時に焦点起始発作群発で発症した Pitt-Hopkins 症候群の 1 例
P-034	植松有里佳	東北大学病院小児科	てんかん性脳症を呈した Pitt Hopkins 症候群の 1 例
P-035	松本 浩	防衛医科大学校病院小児科	EPM2A に新規遺伝子変異を認めた Lafora 病の 1 例
P-036	鈴木智典	東京医科歯科大学小児科	STXBP1 遺伝子変異による Rett 症候群様表現型を呈した男児例
P-037	谷河純平	大阪大学大学院医学系研究科小児科	先天性 glycosylphosphatidylinositol (GPI) 欠損症に対するピリドキシン 大量療法
P-038	富永康仁	大阪大学大学院医学系研究科小児科	歌舞伎症候群の臨床経過の検討
P-039	関 衛順	神奈川県立こども医療センター神経内科	多小脳回を認めた Schinzel - Giedion 症候群の 2 例
P-040	樫木朋子	熊本大学病院小児科	新生児期発症 SLC25A4 遺伝子変異によるミトコンドリア DNA 枯渇症 候群の 1 例
P-041	鈴木公子	東京女子医科大学八千代医療センター小 児科	幼児期の糖尿病で初発したミトコンドリア病の 1 例
P-042	堀 いくみ	名古屋市立大学大学院医学研究科小児科	AIMP1 遺伝子異常による大脳白質低形成症 (HDL3) では末梢神経障 害も合併する
P-043	竹内博一	東京慈恵会医科大学小児科学講座	顕著な易刺激性・筋硬直を呈し KIF1A 異常が同定された 1 例
P-044	家田大輔	名古屋市立大学大学院医学研究科小児科	GNB1 遺伝子のミスセンスバリエーション (c.347G>A; p.Gly114Asp) を 合併したデュシェンヌ型筋ジストロフィーの男児例
P-045	中久保佐千子	北海道大学病院小児科	突発性発疹罹患を契機に RECA (relapsing encephalopathy with cerebellar ataxia) と診断された ATPIA3 遺伝子異常症の 1 例
P-046	及川善嗣	東北大学病院小児科	de novo TRIM8 変異が見出された進行性両上肢の振戦を呈した女子例

一般演題（ポスター）4：先天異常，神経皮膚症候群

P-047	堅田有宇	東北大学病院小児科	遺伝学的検査を施行した Aicardi 症候群の乳児例
P-048	佐藤友哉	東京女子医科大学病院小児科	難治性下痢を伴った Vici 症候群の剖検所見についての検討
P-049	矢野珠巨	秋田大学医学部小児科	長期生存している水無脳症の 1 例
P-050	佐藤明美	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	結節性硬化症における精神神経症状（TAND）の発症要因
P-051	森山伸子	日立製作所ひたちなか総合病院小児科	ケトン性低血糖症を反復した Coffin-Siris 症候群の男児例
P-052	小林 瑞	自治医科大学小児科	当科で経験した Sturge-Weber 症候群 5 例の検討
P-053	内川英紀	千葉大学大学院医学研究院小児病態学	Gorlin 症候群モデルマウスにおける扁桃体の解析
P-054	坂本知子	秋田県立医療療育センター	多発性良性腫瘍を合併した巨脳症の 1 例
P-055	金井創太郎	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	幼児期にインフルエンザ感染症に伴って脳動脈炎を発症した色素失調症患者
P-056	西澤侑香	滋賀医科大学小児科	経過中にもやもや血管の増生を認めた PHACE 症候群の女児例
P-057	佐藤敦志	東京大学医学部附属病院小児科	成人移行期に当院へ紹介された結節性硬化症症例の特徴

一般演題（ポスター）5：発達

P-058	川井未知子	国立成育医療研究センター神経内科	発達遅滞児の臨床症状と遺伝学的診断の検討
P-059	森山 薫	長崎県立こども医療福祉センター	注意欠如多動症に対しリスデキサメフェタミンメシル酸塩カプセルを使用した 2 例
P-060	本島敏乃	本島総合病院小児科	SSP（感覚プロファイル）を用いた神経発達症の感覚特性傾向から療育支援の方法を考える
P-061	山田謙一	新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター	発達神経学領域における 7 テスラ MRI 臨床応用の初期経験

一般演題（ポスター）6：自閉スペクトラム症

P-062	牧野道子	東京小児療育病院小児科	自閉症スペクトラムにおける摂食障害への介入
P-063	鳥尾倫子	九州大学病院小児科	偏食によりビタミン欠乏症を示した自閉スペクトラム症の 3 例
P-064	犬塚 幹	佐世保中央病院小児科	レストレスレッグス症候群としてフォローしていた自閉スペクトラム症の女児例

一般演題（ポスター）7：発達障害の療育・支援・福祉

P-065	平野嘉子	東京都立東大和療育センター分園よつぎ療育園	当園幼児通所者の医療ケア内容の推移
P-066	宮本 健	浜松医療センター小児科	自閉スペクトラム症の偏食に対する入院治療の経験
P-067	井上大嗣	長崎県立こども医療福祉センター	神経発達症の子どもの保護者支援 一当センター評価入院の取り組み一
P-068	荒木章子	札幌市子ども発達支援総合センター小児科	教育支援体制が神経発達症児の適応に及ぼす影響
P-069	松尾光弘	長崎県立こども医療福祉センター	当院における発達障害児の評価入院の紹介

一般演題（ポスター）7：発達障害の療育・支援・福祉 つづき

P-070	上田理誉	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的発達障害研究部	新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言下における神経発達症の小児と保護者の生活の質
P-071	本田真美	医療法人社団のびた みくりキッズくりにつく	ADHD 児に対する神経認知トレーニングプログラムの効果に対する検討
P-072	緒方怜奈	国立病院機構小倉医療センター小児科	北九州市における 4-5 歳児を対象とした強さと困難さ質問表の検証
P-073	諸戸雅治	市立福知山市民病院	子育て支援施設を利用する保護者とのテレビ会議システムを用いた発達相談
P-074	岡田 悠	みくりキッズくりにつく	事前調査を踏まえた医療型特定短期入所に対する重症心身障害児のニーズと開所後の実際
P-075	中野広輔	愛媛大学教育学部	学校教員が専門的な医学的知識を希望する障害種についての調査
P-076	田辺仁彦	神奈川県立こども医療センター神経内科	当科における 5 年間の死亡症例の検討
P-077	中村和幸	山形大学医学部小児科	山形県における小児在宅医療に関する実態調査とその対策
P-078	永江彰子	びわこ学園医療福祉センター草津	全国の医療的ケアを必要とする児童の通学と訪問教育の実態
P-079	中村由紀子	島田療育センター小児科	療育センターにおける訪問診療の現状
P-080	小沢 浩	島田療育センターはちおうじ神経小児科	社会福祉協議会と連携し居場所づくりを行い改善した不登校の 1 例
P-081	早川美佳	東京都立北療育医療センター小児科	当院小児科外来通院中の 40 歳代重症心身障害者等の利用状況と成人診療科移行について

一般演題（ポスター）8：脳性麻痺

P-082	早川 格	国立成育医療研究センター器官病態内科部神経内科	腕時計型 Wearable device（身体装着型加速度計）を用いた重症心身障害児の睡眠と筋緊張亢進の検討
P-083	田島大輔	唐津赤十字病院小児科	α グルコシダーゼ阻害剤が奏効した後期ダンピング症候群の重心児例
P-084	辻 恵	神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設	嵌頓上部尿路結石に対して内視鏡的碎石術を施行した重症心身障害児 2 例
P-085	石井希代子	独立行政法人国立病院機構福島病院	重症心身障がい児・者の慢性便秘症に対するポリエチレングリコール製剤の使用経験

一般演題（ポスター）9：自律神経，頭痛

P-086	大山宜孝	横浜市立大学附属市民総合医療センター	再発性有痛性眼筋麻痺性ニューロパチーと最終診断した 14 歳男子例
P-087	大橋裕子	イムス富士見総合病院小児科	起立性調節障害として経過観察していた脳脊髄液減少症の 1 例

一般演題（ポスター）10：てんかん 診断・遺伝子

P-088	中川裕康	浅ノ川総合病院小児科	非けいれん性てんかん重積状態（NCSE）を繰り返す FMR1 と AFF2 遺伝子を含む Xq27.2q28 欠失を伴う女兒
P-089	赤星進二郎	国立病院機構鳥取医療センター	SLC6A1-related disorders の 1 例
P-090	林田拓也	長崎大学医学部小児科	難治性 West 症候群，先天性難聴，精神運動発達遅滞，ジストニア，特異的顔貌を有する PNPT1 変異の 1 例
P-091	山本亜矢子	横浜市立大学附属市民総合医療センター	特異な脳 MRI 所見を認めた GABRB3 変異を有する West 症候群の 1 例
P-092	大久保幸宗	宮城県立こども病院	SCN1A 変異を有する先天性多関節拘縮症と難治てんかんを来した 1 例

一般演題 (ポスター) 10 : てんかん 診断・遺伝子 つづき

P-093	本郷裕斗	兵庫県立こども病院神経内科	精神運動発達遅滞の精査で診断し得た SCN8A 遺伝子変異をもつ発達性てんかん性脳症の 1 例
P-094	一ノ瀬文男	佐賀大学医学部小児科	SLC6A1 変異による発達性てんかん性脳症を呈した 8 歳男児例
P-095	児玉香織	宮城県立こども病院	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかんと体肺動脈側副血行路を伴った KCNT1 遺伝子変異の 1 例
P-096	小西采良	聖路加国際病院小児科	てんかん発症後に多彩な非てんかん発作を認めた MECP2 遺伝子変異を有する男児例
P-097	柴田磨己	福岡大学基盤研究機関てんかん分子病態研究所	PCDH19 関連てんかんにおける遺伝子型 —表現型の関係性解析—
P-098	根岸 豊	岐阜県立多治見病院小児科	発作性心静止に対して心臓ペースメーカー植え込みを行った SCN8A 遺伝子関連てんかん性脳症の 1 例
P-099	福岡正隆	国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科	嘔吐を主症状とする側頭葉てんかんの 1 例
P-100	池野 充	順天堂大学医学部小児科	全エクソーム解析で PACS2 遺伝子のヘテロ接合性ミスセンス変異と診断された早期てんかん性脳症の 1 例
P-101	丸山慎介	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科	睡眠時随伴症と睡眠時てんかんの鑑別に苦慮した 1 幼児例

一般演題 (ポスター) 11 : てんかん 治療

P-102	今村 淳	岐阜県総合医療センター小児科	ベランパネルが奏効した薬剤抵抗性てんかんを有するウィリアムズ症候群の 2 例
P-103	榎 日出夫	聖隷浜松病院てんかんセンター	小児焦点てんかんにおける perampanel 併用療法の有効性と安全性
P-104	本井宏尚	横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科	レベチラセタム投与による精神症状が遷延した 15 歳のてんかん症例
P-105	藤田貴子	福岡大学医学部小児科	ベランパネルの有効性の検討
P-106	石井雅宏	産業医科大学医学部小児科	ビタミン B6 治療が効果的であった Dravet 症候群類縁てんかんの 1 例
P-107	大松泰生	国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科	小児てんかん患者を対象とした国際共同 311 試験の長期継続投与期におけるベランパネル併用療法の安全性
P-108	原口康平	長崎大学病院小児科	Late onset epileptic spasms の 3 例
P-109	須貝研司	重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎小児科	West 症候群以外のてんかん性スパズムの薬物治療
P-110	中田智彦	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	定位温熱凝固術後に残存した笑い発作に対しベランパネルが有効だった視床下部過誤腫の 1 例
P-111	糸見和也	あいち小児保健医療総合センター	PCDH19 関連てんかんの 3 例の臨床経過
P-112	五嶋 嶺	大阪母子医療センター	ベランパネル血中濃度に関する小児と成人てんかん症例の比較検討
P-113	沖 啓祐	大阪市立総合医療センター小児言語科	優位半球側頭葉を広範囲に切除するも言語機能が保たれた側頭葉てんかんの 1 小児例
P-114	占部良介	帝京大学医学部小児科	ステロイド療法が有効であり、グルタミン酸受容体抗体の推移を観察しえた難治てんかんの 1 例
P-115	伊波勇輝	国立病院機構横浜医療センター小児科	BCG 接種後に発症した West 症候群に対してイソニアジドを併用して ACTH 療法を行った 2 例

一般演題（ポスター）12：神経変性疾患

P-116	綿谷崇史	バイオジェンジャパン株式会社	脊髄性筋萎縮症治療薬ヌシネルセンの国内使用成績全例調査：2020年5月中旬集計
P-117	綿谷崇史	バイオジェンジャパン株式会社	脊髄性筋萎縮症（SMA）臨床症状発現前の乳児に対するヌシネルセン投与の有効性 —NURTURE 試験結果—
P-118	木許恭宏	宮崎大学医学部小児科	SOX10 遺伝子の新生ミスセンス変異をもつ PCWH の 1 例
P-119	齋藤加代子	東京女子医科大学遺伝子医療センターゲノム診療科	ヌシネルセンによる治療中の遅発型脊髄性筋萎縮症患者に発現した重篤な有害事象の発現割合に関する統合解析
P-120	早乙女 愛	バイオジェンジャパン株式会社	脊髄性筋萎縮症患者に高用量ヌシネルセンを投与した第 2/3 相ランダム化比較試験（DEVOTE）：試験デザインと PartA 試験の結果
P-121	青山弘美	千葉県こども病院神経内科	オナセムノゲン アベパルボクにより治療を行った脊髄性筋萎縮症の 2 例
P-122	齊藤利雄	国立病院機構大阪刀根山医療センター小児神経内科	脊髄性筋萎縮症患者の病状の横断的解析
P-123	名嘉山賀子	琉球大学病院小児科	複数の脳神経に発症した再発性有痛性眼筋麻痺性ニューロパチーの 1 例

フリーチャットディスカッション 2 5月29日（土） 8:00～9:00

一般演題（ポスター）13：発達障害，他一般

P-124	恵 明子	熊本大学大学院社会文化科学教育部	小児におけるペンタブレットを用いた書字動態と ADHD および ASD 傾向との関連性について
P-125	小沢愉理	島田療育センターはちおうじ神経小児科	乳幼児・児童のスマートフォン、タブレットの利用状況について
P-126	福井美保	大阪医科大学小児高次脳機能研究所	学童期の極低出生体重児における WAVES を用いた視覚認知機能評価について
P-127	橘 雅弥	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	子どものこころの発達研究センターから展開するアジア発達障害共同研究拠点形成と共同利用推進
P-128	木附京子	佐賀整肢学園こども発達医療センター	当院における就学前の発達障害児の診療状況
P-129	永田浩一	愛知県医療療育総合センター発達障害研究所分子病態研究部	マウス脳における発達障害責任遺伝子産物 MED13L の発現解析
P-130	伊予田邦昭	福山市こども発達支援センター	発達障害特性をもつ就学前幼児の睡眠関連問題の検討
P-131	反頭智子	山梨県立中央病院	当院における子ども虐待対応チーム（Child Protection Team；CPT）の活動 —子どもの事故・虐待と発達症・精神疾患の関連—

一般演題 (ポスター) 14 : てんかん, 他

P-132	松林朋子	静岡県立こども病院神経科	てんかんと合併した Jacobsen 症候群の 2 例
P-133	池田ちづる	国立病院機構熊本再春医療センター	徐波睡眠時持続性棘徐波を示すてんかん (ECSWS) へ変容した Rett 症候群の 1 例
P-134	秋庭崇人	順天堂大学医学部小児科	脳症の急性期に periodic lateral epileptic discharges (PLEDs) 様の脳波所見を呈した Dravet 症候群の 1 例
P-135	深尾俊宣	山梨大学医学部小児科	極低出生体重児に発症するてんかんの特徴
P-136	平井宏子	富山大学医学部小児科	新生児期早期に発症した遊走性焦点発作を伴う乳児てんかんの女児例
P-137	藤井史彦	九州大学小児科	ペースメーカー埋め込み後にてんかん性徐脈と診断された症例
P-138	福村 忍	札幌医科大学医学部小児科	Panayiotopoulos 症候群の初診時における予後因子の探索と治療開始必要性の検討
P-139	細川洋輔	愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科	自閉症合併てんかんに対するレベチラセタムの効果と副作用
P-140	澤村 文	名古屋大学医学部附属病院	バルプロ酸内服中にてんかん患者における尿管障害とカルニチン欠乏
P-141	林谷俊和	滋賀医科大学医学部附属病院小児科	早期の SU 薬投与によりけいれん群発状態を脱し得た DEND 症候群疑いの 1 例
P-142	渡辺陽和	市立豊中病院小児科	てんかんと鑑別を要した高インスリン性低血糖症の 2 例
P-143	満田直美	高知大学医学部環境医学教室	1 歳までの熱性けいれん発症リスクと母乳栄養の関連性について (エコチル調査より)
P-144	中川栄二	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	てんかん地域診療連携体制事業におけるてんかん支援コーディネーター認定制度
P-145	黒田文人	金沢大学附属病院小児科	移行期症例における周産期てんかん管理の諸問題について
P-146	渡慶次香代	筑波大学附属病院リハビリテーション科	脳波異常に対し積極的に治療介入することで機能改善を図ることができた重症心身障害児の 1 例

一般演題 (ポスター) 15 : 電気生理 (脳波, 筋電図, 脳磁図など)

P-147	鈴木清高	国立病院機構豊橋医療センター	重症心身障害児者における VLF の変動係数 (CVVLF) に関する検討
P-148	吉田 登	順天堂大学医学部附属練馬病院小児科	機械学習は小児焦点てんかん脳波の突発波を予測できる
P-149	植田佑樹	北海道大学病院小児科	発作後全般性脳波抑制を認めた SCN2A 関連発達性てんかん脳症の 2 例
P-150	野田あみず	埼玉県立小児医療センター総合診療科	当センター PICU/HCU での持続脳波モニタリング症例の検討

一般演題 (ポスター) 16 : 画像

P-151	南澤有紀	小田原市立病院小児科	「ダウン症候群における社会性に関連する能力の退行様症状」の 13 歳女子の 1 例
P-152	渡辺美緒	群馬県立小児医療センター神経内科	運動発達遅滞と斜頸を認めた片側性小脳低形成の 1 例
P-153	池川 環	藤沢市民病院こども診療センター小児科	小児の脳 MRI 検査における鎮静薬の有用性と安全性について

一般演題（ポスター）17：代謝性疾患

P-154	坂田佑理恵	佐賀大学医学部小児科	視床性失語を呈した MELAS の 1 例
P-155	豊野美幸	秋田県立医療療育センター小児科	Apoptosis Inducing Factor mitochondrion-associated 1 (AIFM1) 遺伝子変異による Leigh 脳症兄弟例
P-156	放上萌美	国立病院機構西新潟中央病院	全エクソーム解析によりアルギナーゼ 1 欠損症と判明した痙性対麻痺の 1 例
P-157	迫 恭子	群馬大学医学部附属病院小児科	喉頭けいれんを生じたゴーシェ病 2 型の 1 例
P-158	本林光雄	長野県立こども病院	タウリン療法とラコサミドが有効であった MELAS に伴う持続性部分てんかんの 1 例
P-159	加野善平	福岡市立こども病院小児神経科	脳梁膨大部に拡散障害を呈した異染性白質ジストロフィーの 2 歳女児例
P-160	水野朋子	東京医科歯科大学小児科	異なる臨床像を呈した SSADH 欠損症の 2 例
P-161	久保田一生	岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学	血縁者間で共有する ABCD1 バリエントをもち大脳型副腎白質ジストロフィーが疑われた男児例
P-162	山本達也	弘前大学医学部小児科	乳児期早期に臍帯血移植を行った Krabbe 病の 2 例
P-163	金 聖泰	兵庫県立尼崎総合医療センター小児脳神経内科	長大な脊髄病変を認めた Leigh 症候群の 1 例

一般演題（ポスター）18：末梢神経

P-164	高橋孝治	総合病院土浦協同病院小児科	抗 Neurofascin 155 抗体陽性 CIDP の男児例
P-165	眞下秀明	東京都立神経病院神経小児科	脊髄性筋萎縮症 2 型に対する onasemnogene abeparvovec 投与の経験
P-166	宮奈 香	日本赤十字社医療センター	ソロブテロールテープが筋力低下に効果を示したと思われる DOK7 変異先天性筋無力症候群の 1 例
P-167	福田智文	産業医科大学小児科	抗糖脂質抗体陽性の動眼神経麻痺をきたした 1 女児例

一般演題（ポスター）19：筋

P-168	沢石由記夫	秋田県立医療療育センター小児科	ジストロフィン遺伝子エクソン 52 単独欠失の Duchenne 型筋ジストロフィー症例に対するビルトラルセンの有効性
P-169	林 泰壽	国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科	乳児重症型ミオチューブラーミオパシーの長期経過に関する検討
P-170	松村 剛	国立病院機構大阪刀根山医療センター脳神経内科	筋強直性ジストロフィー診療ガイドラインの作成
P-171	石垣英俊	浜松医科大学小児科	Nusinersen 治療後 Onasemnogene abeparvovec を投与した脊髄性筋萎縮症 1 型と Becker 型筋ジストロフィーとを合併する男児の短期経過
P-172	渡辺麻美	長崎大学病院小児科	Duchenne 型筋ジストロフィーに対しビルトラルセンを導入した 2 例
P-173	柴 直子	信州大学小児科	STIM1 遺伝子異常による tubular aggregate myopathy の 1 例
P-174	四俣一幸	鹿児島市立病院小児科	高 CK 血症で見つかった Schwartz-Jampel 症候群の 1 例
P-175	木原祐希	東京女子医科大学病院小児科	右眼瞼下垂と右半身優位の筋力低下を認め、MTM1 遺伝子変異症候性保因者と診断された女児例
P-176	夏目岳典	信州大学医学部小児科	ステロイド治療を行った神経痛性筋萎縮症の男児例
P-177	脇坂晃子	独立行政法人国立病院機構医王病院小児科	小児期からフォローしているベッカー型筋ジストロフィー患者の臨床像の検討
P-178	坂本晴子	大阪赤十字病院小児科	当院における小児期発症重症筋無力症 6 例の臨床経過
P-179	稲葉雄二	長野県立こども病院神経小児科	小児神経筋疾患患者に対するロボットスーツ HAL® による治療効果の検討

一般演題 (ポスター) 20: 腫瘍・血管障害・脳外科領域

P-180	馬場悠生	鹿児島市立病院小児科	腹痛, 腹部膨満を契機に腹腔内に髄液仮性嚢胞を認めた 1 歳男児例
P-181	江添隆範	東京都立大和療育センター	深部静脈血栓症の院内初期診療マニュアル作成 — 非専門施設の初期診療において, いかに関速に診断し, どのように対処すべきか—
P-182	伊藤祐介	浜松医科大学小児科	不全型 Susac 症候群の 1 例
P-183	底田辰之	滋賀医科大学小児科	特異な頭部の不随意運動で発症した小脳腫瘍の 1 例
P-184	佐々木亜希子	国立成育医療研究センター	胆汁うっ滞性肝疾患を背景に持つ乳児の遅発性ビタミン K 欠乏性頭蓋内出血

一般演題 (ポスター) 21: 急性脳炎・脳症 (自己免疫性脳炎を除く)

P-185	京田学是	昭和大学横浜市北部病院こどもセンター	急性脳症を繰り返し RANBP2 遺伝子変異を認めた女児例
P-186	井原由紀子	福岡大学小児科	チオペンタール中止後の発作再燃にリドカイン, ラコサミドが有効だった難治類回部分発作重積型急性脳炎 (AERRPS) の 1 例
P-187	前田謙一	福岡市立こども病院小児神経科	川崎病の治療経過中にびまん性の血管原性浮腫を認め, 重篤な脳症を発症した 1 例
P-188	北村一将	国立病院機構舞鶴医療センター	広範な白質病変を呈したにも関わらず, 予後良好な経過をたどったパレコウイルス A3 脳炎の新生児例
P-189	小川恵梨	東京都立小児総合医療センター神経内科	中脳黒質病変とパーキンソニズムを合併した急性小脳炎の 1 例
P-190	山本寿子	川崎市立多摩病院小児科	二相性脳症を呈した肺炎球菌菌血症の 1 例
P-191	高見 遥	東京慈恵会医科大学小児科	軽症熱傷後に毒素性ショック症候群と重篤な急性脳症を発症した 11 か月男児例
P-192	武田 翔	順天堂大学医学部小児科	RS ウイルス感染を契機に発症した急性脳症
P-193	守谷充司	仙台市立病院小児科	単純ヘルペス脳炎の急性期以降にアシクロピルの内服治療を行った 2 例
P-194	山本啓之	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	2018-2019 年度における急性脳炎脳症発症数の比較
P-195	尾高真生	横浜市立大学附属市民総合医療センター 小児総合医療センター	二相目のけいれん後に急激な脳浮腫を呈したけいれん重積型 (二相性) 急性脳症の 1 例

一般演題 (ポスター) 22: 自己免疫性脳炎

P-196	鈴木基正	あいち小児保健医療総合センター神経内科	抗 NMDA 抗体陽性の限局性脳炎の 1 例
P-197	杉山延喜	神奈川県厚生連伊勢原協同病院小児科	歩行障害と感音性難聴を認め GluR 陽性であった自己免疫性脳幹小脳炎の 1 例
P-198	竹内峻亮	徳島大学病院小児科	視覚症状のみが遷延したが, 血漿交換後に症状改善を得た抗 myelin oligodendrocyte glycoprotein (MOG) 抗体関連疾患の男児例
P-199	藤本 遼	千葉県こども病院神経科	抗 MOG 抗体の陰性化後にステロイド後療法を中止した多相性散在性脳脊髄炎の 1 例
P-200	田中大輔	自治医科大学小児科	小児抗 MOG 抗体関連疾患における抗体価の推移
P-201	岩淵恵美	茨城県立こども病院	治療に難渋した抗 NMDA 受容体抗体陽性の辺縁系脳炎の 1 例
P-202	田浦喜裕	京都府立医科大学小児科	てんかんが先行せず片麻痺・ジストニアで発症した Rasmussen 脳炎の 1 例
P-203	吉田龍平	兵庫県立尼崎総合医療センター小児科	遷延する頭痛で発症し, ステロイド依存性に再発する髄膜脳炎で抗 MOG 抗体陽性が判明した 1 例
P-204	宇佐美亜由子	田附興風会医学研究所北野病院小児科	抗 NMDA 受容体脳炎の 2 歳女児例
P-205	森 貴幸	東京大学医学部附属病院小児科	前頭葉病変により構成障害を来した急性散在性脳脊髄炎の 1 例

一般演題（ポスター）23：感染，免疫（急性脳炎・脳症を除く）

P-206	竹中 暁	東京大学医学部附属病院小児科	症候性先天性サイトメガロウイルス感染児の幼児期発達予後
P-207	松田慎平	順天堂大学小児科	脳腫瘍との鑑別を要した抗 myelin oligodendrocyte glycoprotein (MOG) 抗体陽性関連疾患の 1 例
P-208	下田木の実	東京大学医学部小児科	ナタリズマブが著効した難治な再発寛解型多発性硬化症の 12 歳女児例
P-209	大川優子	大分大学医学部小児科	進行性の難聴をきたし小児期シェーグレン症候群と診断した 2 例
P-210	柿本 優	東京大学医学部附属病院小児科	全身性エリテマトーデスに続発した抗 LRP4 抗体陽性重症筋無力症の 1 例
P-211	渡辺圭介	秋田大学医学部附属病院小児科	髄液好中球数増加が遷延し治療に苦慮した先天性皮膚洞に合併する細菌性髄膜炎の 1 例
P-212	佐藤睦美	小田原市立病院小児科	Neuromyelitis optica spectrum disorder に対する mycophenolate mofetil の使用経験
P-213	神岡哲治	イムス富士見総合病院小児科	転換性障害として治療されていた急性散在性脳脊髄炎の 1 例
P-214	チョンビンフィ	福岡市立こども病院小児神経科	急性弛緩性脊髄炎 (AFM) の発症 3 年後の神経予後
P-215	松藤まゆみ	鹿児島市立病院	視神経脊髄炎の維持療法中に重症筋無力症を繰り返す 1 例
P-216	川上沙織	福岡市立こども病院小児神経科	当院で過去 5 年間に抗 MOG 抗体検査を依頼した症例の検討
P-217	米衛ちひろ	鹿児島大学医学部小児科	発症から 8 年後に胸腺摘除を行った重症筋無力症の 12 歳女児例

一般演題（ポスター）24：睡眠障害

P-218	吉崎亜里香	大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どものこころの分子統御機構研究センター	双方向性スマートフォンアプリ「ねんねナビ」による幼児の睡眠習慣への介入 —社会実装による有用性検討—
P-219	小松博子	久留米大学病院小児科	幼稚園児におけるメディア曝露および睡眠不足と視機能異常との関連
P-220	蘇 平	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	中国語版「子どもの眠りの質問票」をつかった中国青海省における子どもの睡眠調査
P-221	小坂拓也	福井大学医学部小児科	神経発達症に伴う睡眠障害に対するラメルテオンとメラトニンの効果検証
P-222	露崎 悠	神奈川県立こども医療センター神経内科	睡眠時驚愕症 5 例に対する ramelteon の有効性と安全性
P-223	弓削康太郎	久留米大学高次脳疾患研究所	MeCP2 欠損マウスによるレット症候群の睡眠障害に関する研究
P-224	水谷聡志	大阪母子医療センター	当院での小児神経疾患におけるメラトニンの有効性

一般演題（ポスター）25：内分泌，中毒，栄養

P-225	漆畑 侖	浜松医科大学小児科	重度貧血を認め、壊血病による急激な進行と考えられた選択的摂食を伴う自閉スペクトラム症の 1 例
P-226	竹下英子	柳川療育センター	$\omega 3$ 系脂肪酸製剤の経腸投与によって腸管不全合併肝障害の改善をみた短腸症候群の 1 例

一般演題（ポスター）26：災害・COVID-19 関連

P-227	高橋長久	心身障害児総合医療療育センター小児科	小児神経疾患および発達障害児の COVID-19 感染流行下での生活についてのアンケート調査報告
P-228	小泉慎也	同愛記念病院小児科	当院小児科における COVID-19 流行第一波によるてんかん診療への影響
P-229	北村太郎	仙台市立病院小児科	仙台での熱性けいれんの季節性変化：新型コロナウイルス流行を受けて
P-230	中村幸介	国立病院機構甲府病院小児科	COVID-19 流行期に対応した在宅医療児のトータルサポート
P-231	友納優子	北九州市立総合療育センター小児科	当センターにおける新型コロナウイルス院内感染対策
P-232	長濱明日香	坂ノ市病院小児科	保護者アンケート調査に基づいた COVID-19 流行時の医療的ケア児の療養に関する取り組み
P-233	五十嵐鮎子	順天堂大学小児科	COVID-19 流行初期における当院小児神経外来の状況
P-234	井手見名子	兵庫県立尼崎総合医療センター小児科	ウィズコロナ時代のダウン症赤ちゃん体操教室外来のあり方調査